

令和4年度 事業報告書



社会福祉
法人

相模原市社会福祉協議会

目 次

令和4年度 事業実施概要	ページ 1 ~ 3
--------------	--------------

実施事業報告	4 ~ 84
--------	--------

①法人運営事業

事業名	ページ
1 一般会員の加入促進	6
2 理事会等の開催	
3 苦情解決事業	10
4 事務局の運営	11
5 共同募金会相模原市支会の運営	13
6 相模原市民生委員児童委員協議会の運営支援	14
7 相模原市地区社会福祉協議会の運営支援	15
8 部会活動推進事業	16
9 課題別検討委員会の開催	
10 福祉のしごと・魅力発信事業	17
11 広報紙社協さがみはら「みんないいひと」の発行	
12 相模原市社会福祉大会「市民みんないいひとの日」の開催	18
13 賛助会員募集事業	19
14 録音・点字版社協さがみはらの発行	
15 マスコットキャラクターを活用した PR	
16 寄付促進推進事業	
	20

②地域福祉推進事業

事業名	ページ
1 地区社協情報コーナーの設置	21
2 福祉情報ネットワーク推進事業	
3 地域の支えあい応援事業(地域福祉推進員の設置)	
4 地域の支えあい応援事業(地域福祉支援員の設置)	
5 地域の支えあい応援事業(賛助会員会費の配分)	
6 地域の支えあい応援事業(サロン活動支援事業)	
7 福祉コミュニティ形成事業	22
8 交通遺児援護事業	28
9 南区地域福祉交流라운ジの運営	
10 民生委員・児童委員研修事業	31
11 福祉教育活動推進事業	32
12 ふれあいデイホーム事業	34
13 インターネット等活用福祉情報提供事業	
14 地域の支えあい応援事業(地区社協育成費補助金)	35
15 災害見舞金の支給	
16 就職支度費等一時給付事業(生活困窮者世帯就職活動応援事業)	36
17 食料品等緊急一時給付事業	
18 生活困窮者支援団体応援事業	
19 子ども健やか育成事業	
20 子どもの居場所創設サポート事業	37
21 市民活動育成支援事業	40
22 ボランティアセンター運営事業	42

事業名	ページ
2 3 いるかバンクの運営	44
2 4 防災ボランティア推進事業	45
2 5 ボランティア協会活動助成	46
2 6 地区住民相談支援活動推進事業	47
2 7 生活支援体制整備事業	50
2 8 女性のつながりサポート事業	57
2 9 重層的支援体制整備モデル事業	59

③あんしんセンター事業

事業名	ページ
1 法人後見事業	61
2 日常生活自立支援事業	62
3 成年後見制度利用促進事業	64
4 市民後見人養成事業	67
5 身元保証・死後事務支援に向けた取組について	69

④在宅福祉推進事業

事業名	ページ
1 ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業	70
2 福祉用具無料貸出事業	71
3 ファミリー・サポート・センター事業	
4 生活福祉資金の貸付事務	73
5 生活資金一時貸付事業	74
6 要援護世帯生活資金貸付事業	75
7 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	
8 社会福祉事業振興資金貸付事業	

⑤住民参加推進事業

事業名	ページ
1 ふれあいサービス(有料家事援助サービス)事業	77
2 要介護認定調査事業	78
3 障害支援区分認定調査事業	
4 介護支援ボランティア事業	79
5 福祉従事者メンタルヘルス相談事業	

⑥市民福祉会館運営事業

事業名	ページ
1 あじさい会館管理運営事業	81
2 あじさい会館南分室(南保健福祉センター内)	83
3 あじさい会館緑分室(緑区合同庁舎内)	84

⑦収益事業

事業名	ページ
1 飲料水等販売・自動販売機等運営事業	84

令和 4 年度 事業実施概要

1 はじめに

「第9次相模原市社会福祉協議会地域福祉活動計画」（令和2年度～令和5年度）」の実現に向け、企業・法人によるSDGsへの取組など、多種多様な主体の参画による地域福祉を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、「社会的な孤立の深刻化」「失業・減収した人の増加」「ひきこもり」などの複雑・複合的な地域生活課題がより顕在化しています。

このような状況の中、コミュニティソーシャルワーカーによる個別支援等を通じて地域生活課題の把握に努め、身寄りのない方への支援事業「見守りエンディングサポート事業」の創設、「10代・20代女性のための居場所の開催」など、地域住民の皆様をはじめ企業・法人、社会福祉施設等との連携により解決に向けた取組を進めました。

また、地域共生社会の実現に向け、包括的な支援体制を円滑に構築・実践する仕組みづくりを進める「重層的支援体制整備モデル事業」の一部を市から受託し、地域が進める取組や地域資源等の情報の共有を図るとともに、更なる地域づくりに向けたプラットフォームの検討を進めました。

2 重点的な取組

(1) 小地域の支えあい活動を促進

ア 市内22地区に配置するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が地区社協や自治会、地区民児協、老人会、地域包括支援センター等との連携・協力のもと、地域にある「困りごと」を持ち寄り、地域を基盤とする支えあい活動の創設等に取り組みしました。

また地区の取組について、ホームページやSNS等を通じて広く市民に発信しました。

イ 相模原市より「重層的支援体制整備モデル事業」の一部を受託し、新たな地域共生社会に向けた地域づくりを進めるため専任職員1名を配置し、市が定めたモデル地区（藤野地区・田名地区・大野南地区）における地域資源を調査・整理するとともに研修会を実施し、地域の社会資源を活用した地域づくりを模索しました。

(2) 「子ども・若者支援活動団体」相互の連携・協働を促進

福祉的な「困りごと」を抱える子ども・若者の居場所や社会参加の場づくりを目的に、子ども・若者支援団体への助成金交付、相談支援を通じ、各団体が抱える「困りごと」を把握し、団体相互が「困りごと」を共有する場づくり、解決に向けた連携・協働のきっかけづくりを進めました。

子ども・若者を支援する市民福祉活動団体への助成実績

助成事業	助成金交付団体	助成金交付額
子ども健やか育成事業	32団体	5,803,916円
生活困窮者支援団体応援事業	6団体	1,086,699円
市民活動育成支援事業	14団体	1,275,437円

(3) 高齢者・障がい者等の権利擁護の総合的な支援事業を推進

ア 判断能力が不十分な高齢者や障がいのある方が地域で安心して暮らせるよう、ご本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助を行う「日常生活自立支援事業」の充実を図るとともに、新たに相模原市より、「中核機関」を受託し、権利擁護支援を必要とする方を適切な支援につなげるため、各関係機関や専門職団体等で構成された「地域連携ネットワーク」の構築など、成年後見制度の利用促進に取り組みました。

日常生活自立支援事業実利用者数

認知症高齢者等	障がい者			その他	合 計
	知的	精神	身体		
66人	34人	74人	10人	2人	186人

成年後見等受任実利用者数

認知症高齢者等	障がい者		合 計
	知的	精神	
11人	9人	6人	26人

主な成年後見制度利用促進事業の実績

成年後見一般相談（職員対応）の開催	582件
成年後見専門相談（司法書士等対応）の開催	月4回（相談件数74人）
成年後見制度等説明会への講師派遣	5件
成年後見制度無料相談会の開催	年3回（参加人数49人）

イ 身寄りがない、あるいは、家族や親族からの支援が受けにくい高齢者等に対する入院、施設入所に際しての支援、また、本人の死亡時の埋葬や家財の処分等を支援する「みまもりエンディングサポート事業」を実施しました。また、同じような境遇にある高齢者同士が交流し、相互に情報の共有や交換ができる機会の確保を目的に、おひとりさまの「終活サロン」を実施しました。

みまもりエンディングサポート事業

問い合わせ件数	34件
相談申込件数	5件
おひとりさま終活サロン参加人数	17人

(4) 市民や企業・法人等の福祉活動への参加を促進

SDGs や社会貢献活動への関心が高まる中、企業や学生からのボランティア相談が増加したため、相談者に向けてのボランティアセミナーの開催や、企業・法人の持ち味等を生かした参加プログラムの検討を行いました。

(5) 本会の発展に向けた経営基盤の強化

「強化発展計画（令和3年度～令和5年度）」の取組目標である、「市社協の総合力を発揮する組織力の強化」「自らの役割の発揮と職員が育ちあう人材育成の充実」に向け、職員が部署を越え横断的に集まり、地域生活課題の共有や解決に向けた取組の検討を通じ、業務の相互理解を進めるなど自己及び職員同士の資質向上を図りました。

また、「市社協のファンを増やす経営の安定」では、ホームページやInstagram、ブログなどのSNS を積極的に活用するとともに検討し、情報発信の充実に取り組みました。

実 施 事 業 報 告

凡 例：事業名の次行右に財源名（括弧書き）及び執行済額を記載

補助	市・県社協補助金
共募	共同募金配分金
受託	市・県社協受託金
自主	自主財源（賛助会費、寄付金、事業収入等）

SDGs を踏まえた事業の推進

SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに「持続可能でよりよい世界」を目指す国際目標で、17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs の17のゴールは、社会的に弱い立場にある方々を含めて、一人ひとりを排除や孤独から守り、社会（地域社会）の一員として取り組み、支えあう考え方です。

日本では、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するために、2020年から10年間にわたり、目標達成に向けて積極的に取り組んでいくことが明言されています。

本会では、その目標達成を意識し、「さがみはら SDGs パートナー制度」に登録し、地域にある「困りごと」への対応や市民による支えあい活動の推進等に取り組んでいます。



《本事業と特に関連の深い目標》



※相模原市社会福祉協議会は、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた取組を進めています。

① 法人運営事業

1 一般会員の加入

一般会員内訳

種 別	会員区分	会員数
第1種会員	地区社会福祉協議会	22
第2種会員	地区自治会連合会	22
第3種会員	地区民生委員児童委員協議会	22
第4種会員	ボランティア・市民活動を行う団体	16
第5種会員	高齢者福祉を目的とする施設及び団体	63
第6種会員	障がい福祉を目的とする施設及び団体	90
第7種会員	児童福祉を目的とする施設及び団体	90
第8種会員	学識経験者	7
第9種会員	関係行政機関	4
合 計		336

2 理事会等の開催

(自主) 788,868 円

組織体制

役員等	人 数
理 事	13 人
監 事	2 人
評議員	20 人

理事会の開催（４回）

開催月日	出席者	内 容
＜第１回＞ 令和４年６月７日（火）	理事 １２ 人 監事 ２ 人	議案第１号 令和３年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業報告及び決算並びに監査報告について 議案第２号 一般会員の推薦について 議案第３号 評議員選任候補者の同意について 議案第４号 評議員会の招集について 報告第１号 専決処分について（令和３年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第３号）） 報告第２号 令和３年度資金運用結果について
＜第２回＞ 令和４年９月１５日（木）	理事 １２ 人 監事 ２ 人	議案第５号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会顕彰規程に基づく令和４年度顕彰者の決定について 議案第６号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会文書取扱規程の一部を改正する規程について 議案第７号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員の育児休業等に関する規程の一部を改正する規程について 議案第８号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員等の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について 議案第９号 日常生活自立支援事業に係る利用料金の改定について 議案第１０号 身元保証・死後事務支援等に係る事業の実施について 議案第１１号 評議員会の招集について 報告第３号 会長及び常務理事の職務の執行状況について

<第3回> 令和5年1月23日(月)	理事 13 人 監事 1 人	議案第12号	評議員選任候補者の同意について
		議案第13号	令和4年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号)について
		議案第14号	令和5年度あじさい基金等資金運用計画の策定について
		議案第15号	評議員会の招集について
		報告第4号	専決処分について(社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程)
		報告第5号	みまもりエンディングサポート事業の実施状況について
		報告第6号	重層的支援体制整備モデル事業の実施状況について
<第4回> 令和5年3月14日(火)	理事 10 人 監事 2 人	報告第7号	地域福祉活動計画等策定委員会の設置について
		議案第16号	社会福祉法人相模社会原市社会福祉協議会事務局の組織及び職制に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第17号	社会福祉法人相模社会原市社会福祉協議会社会福祉協議会職員就業規程の一部を改定する規程について
		議案第18号	社会福祉法人相模社会原市社会福祉協議会社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改定する規程について
		議案第19号	令和5年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業計画及び予算について
		議案第20号	生活資金一時貸付の償還免除について
		議案第21号	役員等損害賠償責任保険契約について
		議案第22号	評議員会の招集について
		報告第8号	会長及び常務理事の職務の執行状況について

監査の実施(1回)

開催月日	出席者	内 容
令和4年5月23日(月)	監事 2 人	監査の対象 令和3年度に執行した事業及び財産に関する収支書類

評議員会の開催（４回）

開催月日	出席者	内 容	
＜第１回＞ 令和４年６月２７日（月）	評議員 １７人	議案第１号	令和３年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業報告及び決算並びに監査報告について
		報告第１号	一般会員の入会について
		報告第２号	評議員選任候補者について
		報告第３号	評議員選任委員会の結果について
		報告第４号	専決処分について（令和３年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第３号））
		報告第５号	令和３年度資金運用結果について
＜第２回＞ 令和４年９月２９日（木）	決議の省略 評議員 １７人	議案第２号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会文書取扱規程の一部を改正する規程について
		議案第３号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員の育児休業等に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第４号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員等の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第５号	日常生活自立支援事業に係る利用料金の改定について
		議案第６号	身元保証・死後事務支援等に係る事業の実施について
		報告第６号	会長及び常務理事の職務の執行状況について
		報告第７号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会顕彰規程に基づく令和４年度顕彰者について
＜第３回＞ 令和５年２月９日（木）	評議員 １７人	議案第７号	令和４年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第１号）について
		報告第８号	評議員選任委員会の結果について
		報告第９号	専決処分について（社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程）
		報告第１０号	令和５年度あじさい基金等資金運用計画について
		報告第１１号	みまもりエンディングサポート事業の実施状況について

		報告第 12 号	重層的支援体制整備モデル事業の実施状況について
		報告第 13 号	地域福祉活動計画等策定委員会の設置について
＜第 4 回＞ 令和 5 年 3 月 28 日（火）	評議員 16 人	議案第 8 号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務局の組織及び職制に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第 9 号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部を改正する規程について
		議案第 10 号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について
		議案第 11 号	令和 5 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業計画及び予算について
		議案第 12 号	生活資金一時貸付の償還免除について
		報告第 14 号	会長及び常務理事の職務の執行状況について
		報告第 15 号	役員等損害賠償責任保険契約について

3 苦情解決事業

（自主）11,680 円

提供するサービスや事業に対する市民からの苦情、要望等に適切に対応した。

苦情受付内容

事業名	件 数
収益事業	1 件
ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業	1 件
あんしんセンター事業	2 件
要介護認定調査事業	1 件
生活福祉資金貸付事業	1 件
南区地域福祉交流ラウンジの運営	1 件
合 計	7 件

4 事務局の運営

(補助・自主) 424, 475, 196 円

1) 事務局運営

市民福祉活動支援、権利擁護に係る利用者支援及び関係機関・団体とのネットワーク構築に必要な個別支援、連絡調整等に係る人員の確保に向け、事務事業の見直しを進めた。

職員体制

職 名	人 数
固 有 職 員	53 人
嘱 託 職 員	7 人
非 常 勤 職 員	160 人
合 計	220 人

事務局体制

事務局
○総務課 企画財政係、総務係、あじさい会館
○福祉推進課 地域支援係、市民活動係
○さがみはら成年後見・あんしんセンター
○緑区事務所 城山地域事務所 津久井地域事務所 相模湖地域事務所 藤野地域事務所
○南区事務所

職員研修の実施

開催月日	参 加	内 容
令和 5 年 3 月 3 日 (金)	固 有 職 員	階層別研修（主事・主任級） ○講義・演習 「ストレスマネジメント研修～仕事に役立つ上手な頭の切り替え法～」 講師 特定非営利活動法人 神奈川県メンタルヘルスサポート協会 さがみはらカウンセリングルーム 臨床心理士・公認心理師 猿渡 めぐみ 氏 ・日々におけるストレスから自分の心の状態を理解し、自分に合ったストレスケアについて学んだ。 ○ゆる・つなタイム 仲間とのつながりを意識したグループワーク ○社協予算ってどうなっているの？ 説明 市社協 総務課長

2) 本会強化発展計画に基づいた経営基盤の強化

本会強化発展計画（令和3年度～令和5年度）に基き各取組目標に向けて以下の事業を実施した。

ア ①「市社協の総合力を発揮する組織力の強化」及び

②「自らの役割の発揮と職員が育ちあう人材育成の充実」について

○本会職員によるワーキンググループ

- ・終活をテーマとした地域啓発プログラム等の検討会

会議開催：令和5年2月～令和5年3月 3回開催

- ・女性のつながりサポート事業プロジェクトチーム（P58再掲）

会議開催：女性を取り巻く課題検討 令和4年11月～令和5年2月 5回開催

ふたばRoom開催：10代・20代のための居場所として開催

○職員の人材育成

階層別研修では、講師による対面研修、eラーニングによるオンライン研修を各階層等の課題に合わせて実施した。（新人職員、主事・主任、主査・副主幹、職場指導員等）

イ ③「市社協のファンを増やす 経営の安定」について

○市民に向けた取組の周知

- ・広報紙の他、Instagram、ブログ、ホームページ等のSNSにおいて、市社協事業や地域福祉活動等の取組を積極的に情報発信し、市民への周知を図った。

3) 情報の公開、事業運営の透明性の確保

理事会や評議員会の議事録等の経営情報や、事業報告・決算及び事業計画・予算等運営状況等の情報をホームページや広報紙等を通じて公開し、事業運営の透明性を図った。

4) 寄付金の受入れ

寄付金の受入れ状況

区 分	件 数	金 額
社会福祉のために	128 件	6,468,911 円
交通遺児のために	6 件	494,300 円
障がい福祉のために	1 件	27,064 円
子ども健やか育成基金のために	11 件	633,870 円
車両購入のために	1 件	2,050,000 円
その他	8 件	24,000 円
合 計	155 件	9,698,145 円

5) 寄付物品の受入れ

寄付物品の受入れ状況

区 分	個 人	団 体	合 計
日 用 品	5 件	4 件	9 件
紙 お む つ	20 件	1 件	20 件
福 祉 用 具 等	1 件	1 件	2 件
雑 貨 等	1 件	1 件	2 件
コ ロ ナ 感 染 予 防 用 品	7 件	1 件	7 件
食 料 品	1 件	1 件	1 件
衣 類 等	9 件	2 件	11 件
そ の 他	1 件	1 件	1 件
合 計	43 件	9 件	52 件

5 共同募金会相模原市支会の運営

共同募金の募集・受配実績

区 分	実績額	県共同募金会からの受配額
赤い羽根募金	29,167,931 円	16,371,578 円
年末たすけあい募金	13,295,769 円	13,113,988 円
合 計	42,463,700 円	29,485,566 円

募金種別の募集実績額内訳

区 分	金 額
戸別募金	37,611,787 円
街頭募金	1,033,219 円
法人募金	1,776,933 円
学校校内募金	449,581 円
職域募金	801,175 円
イベント募金	27,246 円
その他	763,759 円
合 計	42,463,700 円

受配額の内訳

内 容	金 額
社会福祉施設の支援のために	5,640,000 円
在宅福祉サービス団体等の支援のために	1,200,000 円
本会の事業推進のために	5,781,578 円
年末たすけあい配分事業等に	13,113,988 円
災害見舞金の支給	190,000 円
市支会運営費のために	3,560,000 円
合 計	29,485,566 円

○ 合同会議の開催

実施概要

開催月日	内 容
令和4年4月13日（水） （書 面 評 決）	・ 令和3年度共同募金運動実績報告
令和4年8月24日（水） （書 面 評 決）	・ 令和4年度共同募金運動実施計画（案）について

6 相模原市民生委員児童委員協議会の運営支援

本会に相模原市民生委員児童委員協議会の事務局を置き、民生委員・児童委員の活動支援を行った。

各種会議開催の支援

会議名	回 数
常任理事会	12 回
役員会	12 回
理事会	2 回

専門委員会等開催の支援

委員会名	回 数
地域福祉推進委員会	2 回
児童・子育て支援委員会	1 回
主任児童委員連絡会	5 回
広報委員会	3 回
機関紙編集会議	2 回
研修委員会	4 回

研修会開催の支援

開催月日	内 容
令和4年8月29日（月） 令和4年9月2日（金） 令和4年9月7日（水） 令和4年9月9日（金）	○全体研修会 ・ ヤングケアラーの現状と理解について
令和4年10月27日（木）	○主任児童委員研修会Ⅰ ・ 子育て支援センター、児童相談所との連携について
令和5年1月25日（水）	○中堅委員等研修 ・ 障がい者の理解について
令和5年1月27日（金）	○主任児童委員研修会Ⅱ ・ 児童委員・主任児童委員と学校の連携
令和5年1月31日（火）	○新任民生委員・児童委員研修会Ⅰ ・ 民生委員・児童委員活動について
令和5年3月3日（金）	○地区会長・副会長研修 ・ こども家庭庁創設と民生委員・児童委員※動画視聴 ・ グループワーク

開催月日	内 容
令和5年3月3日（金） ～令和5年3月24日（金）	○新任民生委員・児童委員研修会Ⅱ ・福祉制度・福祉サービス等説明会 ※YouTube 動画配信 ＜集合型・合同視聴＞ あじさい会館 令和5年3月20日（月） 南保健福祉センター 令和5年3月23日（木） 緑区合同庁舎 令和5年3月24日（金）

7 相模原市地区社会福祉協議会の運営支援

相模原市地区社会福祉協議会の事務局として、地区社会福祉協議会の活動支援を行った。

各種会議開催の支援

会議名	回 数
全体会	3 回
役員会	7 回
緑区連絡会	5 回
中央区連絡会	6 回
南区連絡会	4 回

各種部会開催の支援

会議名	回 数
企画部会	3 回
研修部会	2 回
広報部会	4 回

※各区連絡会で市長との意見交換会を行った。

研修会開催の支援

開催月日	内 容	会場
令和4年6月10日（金）	「SDGs について」 講師 市 SDGs 推進会議職員	あじさい会館 6 階展示室

相模原市地区社会福祉協議会創立 70 周年記念「さがみはら地域福祉発表会」開催の支援

開催月日	内 容	会場
令和4年11月19日（金）	各地区社協のお互いの取組を共有するために全地区で動画を作成し、その中から選考された 3 地区の動画を発表した。	あじさい会館ホール他

8 部会活動推進事業

(自主) 118,330 円

1) 種別部会の開催

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、種別部会を開催せず、地域福祉推進に関する情報提供等を行った。

2) 特別部会の開催

高齢者福祉施設部会

事業を経営する社会福祉法人により構成し、地域福祉の推進及び神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会（県老施協）等との連携を目的に開催した。

○ 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会との連携

- ・神奈川県老人福祉施設協議会委員会への参加（委員5人）
- ・関東ブロック老人福祉施設研究総会・かながわ高齢者福祉研究大会合同大会の企画・運営支援（実行委員会委員10人）

○ 各種別施設協議会等との連携

- ・全国老人福祉施設協議会
- ・関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
- ・首都圏高齢者福祉協議会

9 課題別検討委員会の開催

(自主) 192,238 円

○ 第10次地域福祉活動計画等策定委員会の開催

令和6年度から始まる「第10次地域福祉活動計画」の推進に向け、現在進行中の「第9次地域福祉活動計画」の進行状況の確認や地域福祉課題を精査するとともに、第10次地域福祉活動計画に向け、新たな地域福祉課題の解決のための関係諸団体等と連携した支援の在り方や新たな仕組みの構築について検討を行った。

【策定委員】

氏 名	所 属
委員長 松崎 吉之助	相模女子大学
副委員長 安藤 和実	橋本地区自治会連合会
田所 恒男	田名地区社会福祉協議会
戸部 恵美子	相模台地区民生委員児童委員協議会
佐藤 浩史	上溝地域包括支援センター
加賀谷 育子	ちゃれんじ光が丘
高本 辰彦	市健康福祉局地域包括ケア推進部

開催月日	会議等	内 容
令和 4 年 11 月 22 日 (火)	第 1 回 地域福祉活動計画等 策定委員会	・ 正・副委員長の互選 ・ 第 9 次地域福祉活動計画について ・ 第 10 次地域福祉活動計画策定に係るスケジュール
令和 5 年 1 月 30 日 (月)	第 2 回 地域福祉活動計画等 策定委員会	・ 第 9 次地域福祉活動計画の推進状況・取組課題 《重点的な取組について》 - 小地域の支えあい活動の推進 - 子ども・若者支援活動団体の連携・協働
3 月 20 日 (月)	第 3 回 地域福祉活動計画等 策定委員会	・ 次期活動計画の策定に向けた地域生活課題の整理 ・ 地域生活課題の把握等に向けた調査の検討

10 福祉のしごと・魅力発信事業

令和 4 年度は、令和 5 年 2 月 9 日（木）に発行した広報紙のテーマとして「あなたの地元にも！福祉の“かがやきびと”」を掲載し、市内で勤務する福祉従事者を紹介し、福祉の仕事の魅力を発信した。

11 広報紙社協さがみはら「みんないいひと」の発行

（自主）7,204,241 円

1) 全市版の発行

年 3 回（4 月 15 日（金）、8 月 1 日（月）、12 月 1 日（木） 各 170,000 部発行）タブ
ロイド版 新聞折込

社協さがみはら「みんないいひと」全市版の発行

号数等	内 容
242 号 令和 4 年 4 月号	みんなの“想い”が地域で循環！！ ・ 寄付を財源とした助成事業「市民福祉活動応援事業」「生活困窮者支援団体応援事業」「子ども健やか育成事業」を通じて支援を行っている市民福祉活動団体の取組の紹介
243 号 令和 4 年 8 月号	“ユース世代”が語る！ボランティア活動の魅力 ・ 市内でボランティア活動を行う 10 代・20 代の若者世代を代表した 3 名の紹介（ボランティア活動をはじめたきっかけ、エピソードの紹介等）
244 号 令和 4 年 12 月号	つながる つなぐ “福祉の輪” ・ 視覚障がい当事者の取組や体験談の紹介 協力 山岸 加奈子 氏 (盲導犬ユーザー/日本ケアメイク協会理事長/トロンボーン奏者)

2) 区版の発行

年3回（6月23日（木）、9月29日（木）、2月9日（木） 各号 約130,000部発行）

※ 区版は、(株)タウンニュース社発行の「タウンニュース」（緑区・中央区・南区版）の各1ページに掲載

社協さがみはら「みんないいひと」区版の発行

号数等		内 容
第37号	令和4年6月号 発行部数 ・緑区 : 30,700部 ・中央区 : 47,500部 ・南区 : 54,350部	《緑区・中央区・南区だより》 みんなで福祉のまちづくり ～地域の支えあい活動は賛助会員によって支えられています～ ・地区社会福祉協議会の取組紹介
第38号	令和4年9月号 発行部数 ・緑区 : 29,650部 ・中央区 : 46,600部 ・南区 : 53,400部	《緑区・中央区・南区だより》 地域づくりを応援！ 赤い羽根共同募金運動はじまります ・市内の子どもの居場所の取組紹介
第39号	令和5年2月号 発行部数 ・緑区 : 29,650部 ・中央区 : 46,600部 ・南区 : 53,400部	《緑区・中央区・南区だより》 あなたの地元にも！福祉の“かがやきびと” ・市内で勤務する福祉従事者の紹介

12 相模原市社会福祉大会「市民みんないいひとの日」の開催

（共募・自主）1,119,252円

第53回相模原市社会福祉大会を開催し、令和4年度顕彰者の表彰式を行った。

（顕彰者：特別表彰、一般表彰、感謝表彰を受賞する244の個人・団体等）

- 開催日：令和4年11月5日（土）
- 会 場：あじさい会館ホール
- 内 容：令和4年度顕彰者表彰式、みんないいひと写真展

1 3 賛助会員募集事業

(自主) 1,966,200 円

市内 22 地区社会福祉協議会を通じて地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会の協力により募集を行った。

一般賛助会員募集実績

募集実績	うち地区配分額
23,897,327 円	11,948,665 円

法人賛助会員募集実績

会員数	金 額
93 法人	1,590,000 円

募集推進会議の開催

開催月日	内 容
令和 4 年 4 月 13 日 (水)	・ 令和 3 年度 一般賛助会員会費募集結果報告及び使途概要説明 ・ 令和 4 年度 市社協賛助会員募集実施計画 (案) 説明 ・ 募集用チラシ ・ 領収書等の自治会送付説明

1 4 録音・点字版社協さがみはらの発行

(自主) 722,894 円

広報紙「みんないいひと」全市版(年 3 回)・区版(年 3 回)の録音版(CD・テープ)、点字版を発行した。

- 録音版の発行 利用者数:63 人 行政機関等:11 か所
- 点字版の発行 利用者数:17 人 行政機関等:10 か所

1 5 マスコットキャラクターを活用した PR

マスコットキャラクター「にこまる」を活用し、わかりやすく情報を発信するとともに、子どもや若い世代に本会に関心を持ってもらうことを目的に PR 活動を行った。

- ブログ「にこまるの部屋」による情報発信
更新回数:39 回
- にこまる LINE スタンプの作成 (令和 4 年 1 月から販売)

おつかれさまです



16 寄付促進推進事業

企業・法人、市民からの寄付促進に向け、寄付金を活用した取組や成果の周知、企業・法人との連携による寄付付き商品の販売を行った。

1) 企業との連携の促進

○企業・法人に対して、社会福祉協議会の役割や事業を周知し、企業・法人の持ち味等を生かして取り組むメニューとして「人（ボランティア活動者）、物（物品寄付）、財源（地域福祉活動の財源寄付）」等の呼びかけを行った。

2) 寄付付き商品の販売

○日本ハムマーケティング（株）横浜営業所と連携し、お中元・お歳暮商品の売上の一部を社会に還元する活動として、本会への寄付を目的とした寄付付き商品を販売した。

3) 寄付付き制服リサイクル

○学生服リユース Shop さくらや相模原店と連携し、あじさい会館ロビー及び南区地域福祉交流ラウンジに制服回収ボックスを設置。寄付された制服の想定買取価格の一部を社会に還元する活動として「子ども健やか育成基金」に寄付した。

② 地域福祉推進事業【社会福祉事業】

1 地区社協情報コーナーの設置

あじさい会館 1 階と南保健福祉センター 1 階に専用の掲示板を設置し、22 地区社会福祉協議会の活動紹介を行った。

2 福祉情報ネットワーク推進事業

22 地区社会福祉協議会、22 地区民生委員児童委員協議会の事務局において、小地域の支えあい活動を支援するための情報収集・提供を行った。

また、地区事務局の運営強化を図るため、インターネットやタブレット端末の環境整備を進めた。

3 地域の支えあい応援事業（地域福祉推進員の設置）

（補助）90,132,948 円

22 地区に地域福祉推進員を配置し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事務支援を行うとともに、相談支援活動や福祉関係諸団体との連携等ネットワークの構築を図った。

4 地域の支えあい応援事業（地域福祉支援員の設置）

（補助・自主）22,441,851 円

19 地区に地域福祉支援員を配置し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事務支援を通じて活動の促進を図った。

5 地域の支えあい応援事業（賛助会員会費の配分）

（自主）11,955,786 円

地区社会福祉協議会の活動の充実・促進を図るため、地区で募集された一般賛助会費募集実績の 50%を 22 地区社会福祉協議会に配分した。

6 地域の支えあい応援事業（サロン活動支援事業）

身近な地域での高齢者や障がいのある方、子育て期の保護者等の仲間づくりの活動を支援した。

サロン把握数

種 別	サロン数
高齢者サロン	256 団体
子育てサロン	35 団体
障がい者サロン	8 団体
合 計	299 団体

1) サロン活動の促進

- サロンへのレクリエーション用具の貸出し
- ふれあい・いきいきサロンの状況を調査し、課題抽出及び関係者・一般市民への情報提供

2) 新規サロン立ち上げ支援

- 新規サロンの立ち上げの過程で、地区担当職員を中心に相談支援等を行った。

7 福祉コミュニティ形成事業

（補助）9,015,559 円

22 地区で地区社会福祉協議会を中心に取り組まれる小地域の支えあい活動について、事業検討の場「地域福祉推進会議」の運営支援及び事業経費の助成により促進した。

22 地区の「福祉コミュニティ形成事業」主な取組

（単位：円）

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
1	橋 本	○ 活動拠点の運営、交流の場づくり ・ふれあいの家「ぬくもり」の管理、運営 ・定例活動として「ぬくもり喫茶」や「映画の日」「手芸折り紙の日」「いきいき百歳体操」を部分実施 ※従来実施していた「麻雀の日」「将棋の日」「子育てサロン」は、コロナ禍で活動休止	540,000	—	540,000

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
2	大 沢	○ 交流の場づくり ・ 大沢 comcom. com 会議 ・ こむこむ茶屋（上大島自治会館・古清水自治会館）の開催 ・ 健康マージャン（上大島自治会館・古清水自治会館）の開催 ・ 交流イベント「ドットこむ企画：せらぎ号に乗って古民家園で歴史講座を受講しよう！」 ○ 視察研修 ・ 城山地区社会福祉協議会 しろやまふれあい農園、城山助けあい支えあいセンター等 ・ 田名地区社会福祉協議会 田名ボランティアセンター、住民交流の場・和い輪い田名等	50,000	260,000	310,000
3	城 山	○ 交流の場づくり ・ 地区内3ヶ所の拠点（「若葉ほっこりーな」、「原宿なごまーる」、「久保沢ふれあいカフェ」）での交流事業の実施 ・ 農作業を通じた地域の交流の場「しろやまふれあい農園」の活動の実施 ・ 交流の場 地域食堂「愛・城（あいじょう）ものがたり」を開催。「しろやまふれあい農園」で収穫した野菜などを使用。 ○ 個別ニーズ対応 ・ 「城山助けあい支えあいセンター」（愛称 あい♡あいセンター）の実施（相談窓口、サポーター活動、コーディネーター会議、担い手養成など）	70,000	260,000	330,000
4	津久井	○ 見守り活動 ・ 小網支部「小網ふれあいネットワーク」の運営 ・ 中央支部「みまもり活動 あんしん袋」事業の運営 ・ 三井名手支部「ふれあい訪問活動 ふれあい袋（あんしん袋）事業の運営 ○ 交流の場づくり ・ サロン活動の推進事業	75,000	260,000	335,000

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
5	相模湖	○ 交流の場づくり ・ いきいき百歳体操サロン支援 ・ 健康マージャンサロン支援 ・ 「サロン会場」個人宅提供者への経費助成 ○ 見守り活動 ・ 商店等による見守りの仕組み「みまもりネットさがみこ」の実施 ・ とっさの時のあんしんケース（救急医療情報キット）の配布・情報更新 ・ 赤ちゃんが生まれた世帯へのプレゼント配布、訪問事業「こんにちは赤ちゃん!さがみこ“ぬくもり”支援事業」の実施 ○ 個別ニーズ対応 ・ 住民相互の助けあいの仕組み「ちょこっとボランティア相模湖」の実施（活動件数延 113 件） ○ その他 ・ 子育て情報掲載「子育てマップ」の改訂、配布	78,438	260,000	338,438
6	藤 野	○ 藤野福祉コミュニティ推進会議の開催 ・ 地域の課題について検討や情報交換を行う会議。年 4 回開催。 ○ 「コミュニティサロン（たまり場）」の活動支援 ・ 住民主体による地域交流、世代間交流の場の助成金等による活動支援 9 団体 ・ サロン交流会の開催 9 団体 12 人参加 ○ 「おたがいさまネットふじの」の運営 ・ 住民相互の助けあいの仕組み「おたがいさまネットふじの」を運営し、個別ニーズに対応 ・ 困りごと相談窓口 毎週火曜日午後 相談件数 56 件 ・ 草刈や枝切り、ゴミ捨て、買い物代行、見守り（子育て）、犬の散歩等ペット、エアコンや換気扇の清掃などに対応。サポーター52 人 3 団体登録 活動件数 165 件 活動人数 252 人 ・ コーディネーター会議 毎月 1 回開催 コーディネーター6 人による会議 ・ PR 活動 団扇大作戦 手作り団扇をサポーターが作成し、民生委員の協力により高齢者宅へ配布 ・ サポーター交流会 1 回開催 17 人参加 ・ ボランティア交流会 緑区ボランティアセンターとのコラボ企画として実施 27 人参加	60,000	160,000	220,000

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
7	小 山	○ 相談窓口・個別ニーズ対応 ・ 「おやま生活サポートセンター」の運営（令和4年4月拠点移動） ・ 窓口開所（毎週金曜日10時～12時 年間49回） ・ 依頼案件（実績34件） ・ 運営会議開催（年間12回） ○ 周知活動 ・ 地区社協「ほほえみ」にNEWSコーナーを掲載 ・ 自治会回覧の地域情報誌に掲載 ・ チラシを作成し敬老事業にて配布 ○ 啓発活動 ・ 清新地区ちょこっとボランティアくらぶとの情報交換会開催 ・ 大野北地区地域づくり部会との情報交換会開催 ○ 会議 ・ 地域福祉推進会議の開催（2回）	40,000	220,000	260,000
8	清 新	○ 個別ニーズ対応 ・ 「ちょこっとボランティアくらぶ」運営（相談件数：53件 活動件数：42件） ・ ちょこボラミーティングの開催 ・ 登録者向け「ちょこボラ便り」発行 ○ 生活支援体制整備事業「シニアサポート活動（訪問型）」を実施（ごみ出し活動実績：延べ323名）	30,000	200,000	230,000
9	横 山	○ 交流の場づくりと地域活動拠点 ・ コミュニティよこやま「憩」拠点活動実施（年間127回、参加人数延べ853人） ・ コミュニティしもくざわ「憩」拠点活動実施（年間11回、参加人数延べ67人） ・ 輪投げ大会を実施 ・ 清新中学校生徒による花壇の花植えを実施 ・ コミュニティよこやま「憩」大掃除実施 ・ 福祉コミュニティ部会会議開催（年間3回）	280,000	194,692	474,692
10	中 央	○ 交流の場づくり ・ 地区内5拠点（「ふれあいふじみ」、「ふれあいむらとみ」、「ふれあい相生」、「ふれあい相模原中央」、「ふれあいMYT（松が丘・弥栄・高根）」）での三世代交流事業の開催。 ・ 地区内事業「中央地区っていいなあフェア」での三世代交流コーナー設置	30,000	260,000	290,000
11	星が丘	○ 交流の場づくり ・ 「いこいの広場」あらゆる世代の交流の場（地区内3か所）の開催 ・ 「はやぶさ学習塾」による教員OB、民生委員・児童委員、自治会、子ども会との連携による学習支援の実施 ○ 個別ニーズ対応 ・ 「ちょっと手伝い隊」ちょっとした困りごとを、住民同士で支えあい、助けあえる有償ボランティア活動の実施	269,068	260,000	529,068

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
12	光が丘	○ 交流の場づくり ・ 光が丘地区にぎわい処 (コロナ禍のためお弁当持ち帰り方式で週 2 回実施) ・ 上溝団地健康団地ホックリ屋の運営。シルバーカフェの実施 (週 1 回) ○ 個別ニーズ対応 ・ 光が丘サポート隊の実施 ○ 相談窓口 ・ サポートセンターの運営 (週 3 回) (相談受付、ボランティア派遣、担い手養成)	280,000	260,000	540,000
13	大野北	○ 交流の場づくり・相談窓口 ・ 「はやぶさカフェ大野北」について (2 か所、月 1 回) ・ 「親子スペースたけのこの家」(月 2 回) ○ その他 ・ 「お出かけ・配達便利マップ」の作成	135,700	259,396	395,096
14	田 名	○ 交流拠点・相談窓口・個別ニーズ対応 ・ 「田名ボランティアセンター」運営 (週 2 回) ・ ボランティア入門講座・コーディネーター・サポーター研修会の実施 ・ 「ボラセン通信」発行 ・ 住民交流の場「和い輪い田名」の運営 (週 4 回) - スマホ教室、駄菓子屋、おでかけ和い輪い田名 (拠点から遠い地区に出張し交流の場を体験) 等の交流イベントを実施 ・ スタッフ研修、交流会の実施	280,000	260,000	540,000
15	上 溝	○ 活動拠点・交流の場づくり ・ 「ぶらっと上溝」運営 ・ かふえみぞ、健康マージャン。折り紙教室、絵手紙教室、だがし屋さん等の交流事業を実施 ・ ぶらっと上溝ラリーの実施	540,000	—	540,000
16	大野中	○ 個別ニーズ対応 ・ 「おおのなかボランティアセンター」の運営 ・ 支援活動合計 215 件 (ゴミ出し、買い物代行、通院付き添い、草刈り等) ・ 健康麻雀教室の開催 ・ 「ボラセンだより」の発行	330,000	210,000	540,000
17	大野南	○ 交流の場づくり ・ 高齢者サロンの普及推進、運営支援 ・ サロン推進委員会開催 ・ サロン運営者懇談会開催 ・ サロン通信発行 ・ 地区内のふれあい・いきいきサロン (地域サロン) 運営助成	23,499	260,000	283,499

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
18	麻 溝	○ 個別ニーズ対応 ・ 「ボランティアセンターあさみぞ」運営 ・ ボランティアスタッフ会議 10 回 ※従来実施していたボランティア交流会、視察等コロナ禍で中止	480,000	60,000	540,000
19	新 磯	○ 見守り活動 ・ 「新磯見守りステーション」の検討 ・ 1 対 1 の見守り体制ではなく、地域の実情に合った「見守り」について検討 ○ 個別ニーズ対応 ・ 「ちょこっとサポートしたい」の実施 ・ 高齢者や子育て世帯の日常生活でのちょっとした困りごとをすみやかにサポート	57,317	260,000	317,317
20	相模台	○ 活動拠点・交流の場づくり・個別ニーズ対応 ・ 「サポートセンター楽らく」運営 ・ 困りごと相談の受付とその解決策としての情報提供やサポーターの派遣の実施 ・ 担い手確保としてのサポーター登録者の受付と増強 ○ 子育て世帯への支援 ・ 楽らくキッチンの運営	540,000	—	540,000
21	相武台	○ 活動拠点・交流の場づくり ・ 「ひだまり相武台」運営 ・ 住民が気軽に集い・交流の場「ひだまりカフェ」開催 ・ 地域活動団体部屋の貸出 ○ 見守り活動 ・ 「支えあい（愛）相武台」実施 ・ 相武台グリーンパーク・新磯野北班、相武台団地・新磯野南班、相武台前町内会・サンハイム・サンヴェルジュの 3 班による一人暮らし高齢者への定期訪問、運営委員会開催、各班による毎月班会議を実施	228,557	260,000	488,557
22	東 林	○ 交流の場づくり ・ 「東林いこいの広場（地区内 2 か所）」開催 会場：東林公民館会場 年 4 回開催 木曜喫茶 年 50 回開催 ○ その他 ・ 地域住民に対する障がいに関する理解促進を目的とした映画「不安の正体」 上映会&トークイベント開催 参加者：35 名 ・ 高齢者等のスマホの理解を目的とした「初めてのスマホ講座」を開催 参加者：28 名	163,112	260,000	423,112
合 計			4,580,691	4,424,088	9,004,779

8 交通遺児援護事業

(自主) 902,530 円

生活支援を目的に、交通遺児世帯へ見舞金・激励金の支給を行った。

本会 交通遺児指定寄付金の配分

支給金種類	対 象	金 額
指定寄付金等	9 人	900,000 円

9 南区地域福祉交流라운ジの運営

(補助・自主) 12,234,658 円

南区内で地域福祉活動等に取り組む市民を対象にした相互交流及び福祉情報の提供等を目的とした施設の管理運営を行った。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた協力事業でもある各サロンが再開した。活動室の利用予約がない時間帯は、学生に向けた自習室や、どなたでも利用できるスペースとして開放するなど、広く区民に活用していただけるよう取り組んだ。また、3月には、4年ぶりに「ラウンジふくしまつり」を開催し、登録団体の周知啓発や福祉理解の促進を図った。さらに、広報事業として、地域の商業店舗や企業、薬局などに設置した「福祉の掲示板」により、「福祉なんでも相談」や地域の福祉情報を広く市民に向けて発信した。

1) 運営の概要

- 開設日数：310 日（日曜・年末年始を除く）
- 開設時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分
- 窓口来場者数：6,354 人・活動室利用者数：5,242 人・登録団体：51 団体
- スタッフ：相談員 1 人、補助員 9 人

2) 会議の開催

- 運営協議会：年 1 回
- 運営委員会：年 2 回
- 利用者懇談会：年 1 回
- 役員会：随時（年 3 回）

3) 通年事業の実施

- みんなのサロン：月 2 回
- みんなのサロン コーヒー屋さん：月 2 回
- みんなの子育てサロン「ぽっかぽか」：月 2 回

- にほんご教室：週 1 回
- 福祉なんでも相談：週 1 回
- 県立相模原養護学校との協働（清掃活動：令和 4 年度は、2 回）
- 季刊「ふくしラウンジ」の発行：年 4 回

4) 福祉の掲示板の設置

- 大野中（6）、大野南（9）、相模台（6）、相武台（3）、東林（7）

5) 壁面展示及び企画展の実施

南区で福祉サービスを利用する方やボランティアを行う方・団体等を中心に絵画や写真等の作品を公募し、社会参加のきっかけづくりを行うとともに、福祉イベントにちなんだ催しや登録団体による企画展を開催した。

壁面展示及び企画展実施状況

開催月日	内 容
令和 4 年 4 月 2 日（土）～4 月 14 日（木）	相模女子大高等部書道部作品展
4 月 16 日（土）～4 月 25 日（月）	ミライてらすキッズⅡ
5 月 3 日（火）～6 月 28 日（火）	個人展示（11 作品）
7 月 2 日（土）～7 月 14 日（木）	相模原やまびこ会 「相模原市自閉症児・者作品展」
7 月 16 日（土）～7 月 28 日（木）	相模原市高齢者福祉施設協議会 「介護に笑顔は良く似合う写真展」
7 月 30 日（土）～9 月 28 日（水）	個人展示（8 作品）
10 月 1 日（土）～10 月 13 日（木）	「赤い羽根ポスター展」
10 月 18 日（火）～12 月 15 日（木）	個人展示（13 作品）
12 月 17 日（土）～12 月 24 日（土）	「みんなの福祉ポスター・標語・作文展」 「人権・福祉教育活動展」
令和 5 年 1 月 5 日（木）～1 月 14 日（土）	相模原やまびこ会 「相模原市自閉症児・者作品展」
1 月 17 日（火）～1 月 28 日（土）	相模原市高齢者福祉施設協議会 「介護に笑顔は良く似合う写真展」
1 月 31 日（火）	さがみはら若者サポートステーション sHotto ～ 居場所ホッと写真展 ～
2 月 4 日（土）～2 月 11 日（土）	地域包括支援センターまつり
2 月 14 日（火）～3 月 21 日（火）	個人展示（11 作品）

6) ラウンジふくしまつり

開催月日：令和5年3月25日（土）

- 南区地域福祉交流ラウンジ設立10周年記念式典
- 福祉体験スタンプラリー
（バリアフリーアプリ体験/視覚障がい者誘導体験/車いす体験/高齢者疑似体験）
- ラウンジマルシェ（福祉事業所による自主製品販売会）
- ワークショップ（革のキーリングの作成）
- 登録団体によるパネル展示
- 登録団体紹介動画及び南区内7地区社協紹介動画の放映
〈協力団体〉
にほんごの会/出前道芸/相模原誘導グループささの会/精神保健ボランティアグループひびき/
大野南地域包括支援センター/NPO法人ここずっと/県央福祉会/虹の家/すずらんの家/リッチフィー
ルド/シェーン相模大野/レモンタイム工房/相模原ボランティア協会/神奈川県立相模原養護学校/竹
の子の会/神奈川県社会福祉士会相模原支部/相模原失語症友の会/
大野南地区社会福祉協議会/たいようこども園/ひよこ第3保育園

10 民生委員・児童委員研修事業

(受託) 1,200,000 円

民生委員・児童委員（定数：933 人（民生委員・児童委員 879 人 主任児童委員 54 人））を対象とした研修事業を実施した。

民生委員・児童委員研修実施状況

研修名	研修内容・コロナ対応	開催月日	受講者数
全体研修会	ヤングケアラーの現状と理解について	令和4年8月29日（月） 令和4年9月2日（金） 令和4年9月7日（水） 令和4年9月9日（金）	723 人
主任児童委員研修Ⅰ	子育て支援センター、児童相談所との連携について	令和4年10月27日（木）	43 人
中堅委員等研修会	障がい者理解について	令和5年1月25日（水）	106 人
主任児童委員研修Ⅱ	児童委員・主任児童委員と学校の連携	令和5年1月27日（金）	44 人
新任民生委員・児童委員研修会①	民生委員・児童委員活動について	令和5年1月31日（火）	247 人
新任民生委員・児童委員研修会②	福祉制度・福祉サービス等説明会 ※YouTube 動画配信	令和5年3月3日（金） ～令和5年3月24日（金） ＜集合型・合同視聴＞ あじさい会館 令和5年3月20日（月） 南保健福祉センター 令和5年3月23日（木） 緑区合同庁舎 令和5年3月24日（金）	276 人
地区会長・副会長研修	①こども家庭庁創設と民生委員・児童委員※動画視聴 ②グループワーク ・「新任委員」を支える民児協の役割と取り組みについて ・地区民児協運営の課題について	令和5年3月3日（金）	63 人

1 1 福祉教育活動推進事業

(補助・自主) 485,934 円

1) 高等学校への福祉活動支援

高等学校が取り組む福祉活動の普及・啓発を目的に、地域住民や福祉施設、ボランティア等と連携・協力を行いながら、事業の企画の段階から実施までを支援し、高校生の福祉活動に対する意識の向上と参加の促進を図った。

ア 補助金対象校個別ヒアリングの開催

開催日：令和5年2月10日（金）～令和5年2月28日（火）

内 容：本年度補助事業の実施状況や次年度の企画の確認、高校との連携推進を目的とした情報交換について

実施校：5校

（県立津久井養護学校、県立城山高等学校、県立相模原養護学校、県立相模原中央支援学校、県立相模原弥栄高等学校）

イ 補助金交付対象校への支援

補助金交付状況

学校名	内 容	交付額	執行額
県立相模原総合高等学校	- 手話講座及び社会福祉・介護福祉に関する講座 - 市内子どもセンターとの交流	70,000 円	70,000 円
県立津久井養護学校	- 夏祭り（つながれ・つながりフェスティバル）の開催 - 市内高校との交流 - 地域住民との交流を兼ねた地域貢献活動（ブルーベリー摘み、地域清掃）	50,000 円	22,544 円
県立城山高等学校	- ひまわりクラブ人形劇公演 - 福祉体験（手話・介護・視覚障がい者支援 等）	70,000 円	70,000 円
県立相模原養護学校	- 市内高校・大学との交流 - 他校の先生をゲストティーチャーに招いた特別授業の開催	110,000 円	78,687 円
県立相模原中央支援学校	- 地域環境整備事業（学校外の花壇を活用した環境美化活動及び地域住民との交流） - 地域イベントを通じた地域住民との交流 - 学習ボランティアへ感謝を伝える事業	60,000 円	60,000 円
県立相模原弥栄高等学校	ふれあいコンサート（市内特別支援学校との交流）	35,000 円	— 円
合 計		395,000 円	301,231 円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、3校において外部との交流事業等が中止又は縮小となったため、補助金が一部未執行となった。

2) みんないいひと体験講座の開催

主に小・中学生等を対象に、福祉体験講座の開催について講師派遣調整、物品貸出しを実施し、福祉に対する理解を深めた。

ア 講師の派遣調整等

実施件数：70件（小学校35校、中学校21校、高等学校9校
大学2校、施設2社、福祉機関1件）

参加者：6,870人

イ 物品貸出

車椅子：9件、高齢者擬似体験セット：20件

ウ 福祉教育実践担当教諭の支援

令和4年5月24日（火）開催「小・中学校における人権・福祉教育の担当者会（学校教育課主催）」において、みんないいひと体験講座の概要や申請方法の説明を行った。

エ みんないいひと体験講座 情報交換会

令和5年3月29日（水）開催「みんないいひと体験講座 情報交換会」において、本事業の協力講師を対象に情報交換会を行った。学びの目標を共有し、各講師の取り組みや講座の工夫を知り、課題について検討するプラットフォームづくりへとつながった。

参加者：29名

オ その他

福祉教育において講座のテーマやニーズが多様化する中、「地域の活動を知りたい」という学校のニーズと「学校との繋がりを作りたい」という地区社協や近隣福祉施設のニーズを双方に実現するべく、各地区CSWと協力して住民参加型の新たなプログラムを展開した。地区関係者や当事者の参加の機会を生み出しながら、講座終了後も継続的に福祉を学ぶことのできる場を地域の中に創出した。



3) 障がい児通学等送迎活動経費交付事業

ボランティアが取り組む障がい児の通学等送迎活動に対して、活動経費の一部を交付した。

○ 活動回数：446回、交付総額：133,800円

12 ふれあいデイホーム事業

(補助・自主) 5,917,589 円

在宅の障がい児者を介護している家族等介護者が、休養や外出等で介護ができない場合に、相模原市南保健福祉センター内に設置された「福祉支援室」において、障がい児者を昼間一時的に介護し、その世帯の援助を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、スタッフが利用者1人当たり1名でケアができるよう、定員を通常の半数程度とした。

- 令和4年度末利用登録者数：150人
- 運営委員会の開催：令和5年3月28日(火) ※本会評議員会にて予算承認

開設日数・利用者数等		預り事由別内訳			
区 分		人数等		区 分	
年間開設日数		268 日		保護者の疾病・入通院	16 人
年 間 延べ利用者数	18 歳未満	117 人		本人の学校関係	1 人
	18 歳以上	273 人		介護・看護	1 人
	合 計	390 人		冠婚葬祭	1 人
1 日当たり利用者数		約 1.5 人		その他	225 人
				公的機関・自治会等	1 人
				私的理	137 人
				出産	1 人
				体験	6 人
				合 計	390 人

利用時間別内訳	
区 分	人 数
半 日	215 人
全 日	175 人
合 計	390 人

医療的ケア等申請実施状況		
申請内容	申請者数	実施回数
経管栄養	7 人	7 回
吸引	1 人	1 回
てんかん発作時投薬	1 人	1 回
在宅酸素	1 人	1 回

13 インターネット等活用福祉情報提供事業

(公募・自主) 2,451,742 円

電子メール等により市民をはじめ本会一般会員等から福祉講座や研修会、イベント等に関する情報を収集し、本会ホームページにより情報提供を行った。

また、令和4年度より、各部署に情報担当者を配置し、更なる情報発信の促進に向けて検討を進めた。

1 4 地域の支えあい応援事業(地区社協育成費補助金)

(共募・自主) 20,035,662 円

地区社会福祉協議会活動の充実・促進を図るため、運営費及び活動費の助成等を行った。

地区社協育成費補助金財源内訳

補助事業名		財源等
地区社協活動推進事業	基礎事務事業費	共同募金配分金 年末助けあい配分金
	共同募金活用費	
	人口等傾斜配分金	
	ボランティアグループ育成費	
特別育成費補助金		地域貢献型等自販機売上 手数料収入
小地域福祉活動助成金等		地域支えあい応援基金

1 5 災害見舞金の支給

(共募・自主) 520,000 円

火災等罹災世帯への見舞金の支給を行った。

災害見舞金支給状況

見舞金内容等	件数	支給金額
全焼 (1件 20,000円)	14件	280,000円
半焼・半壊 (1件 10,000円)	7件	70,000円
床上浸水 (1件 10,000円)	14件	140,000円
重症 (1件 10,000円)	1件	10,000円
死亡 (1件 20,000円)	1件	20,000円
合 計	37件	520,000円

16 就職支度費等一時給付事業（生活困窮者世帯就職活動応援事業）

（共募）385,776 円

離職その他の事情により一時的に生活困窮に陥り、就職等による自立を志向する世帯を支援するため、就職活動及び就職後に直接必要な物品の給付を行った。

○ 給付対象：8 世帯

就職支度費等一時給付事業給付状況

	給付内容	給付額
1	就職活動中・活動後必要物品購入費用 (眼鏡、自転車、作業着等)	385,776 円
	合 計	385,776 円

17 食料品等緊急一時給付事業

（共募）46,851 円

離職その他の事情により一時的に生活困窮に陥り、生活福祉資金等の貸付決定や給与・公的給付等収入日まで（おおむね 1 週間以内）の間、生活を維持するための食料品の確保が困難な世帯を対象に食料等の給付を行った。

○ 給付対象：6 世帯（8 人分・延べ 33 日間分）

18 生活困窮者支援団体応援事業

（共募）1,089,559 円

市内の生活困窮者の社会参加や自立生活の促進を目的とした活動を行う団体に対して、助成事業を通じて支援を行った。

- 助成団体：6 団体（うち、新規申請団体 1 団体）
- 助成金額：1,086,699 円
- 主な助成対象事業：就労準備支援や社会参加の場づくり、フードバンク等

19 子ども健やか育成事業

（共募・自主）5,973,156 円

市内の福祉的課題を抱える子どもたちの居場所づくり等の活動を行う団体に対して、助成事業を通じて支援を行った。

- 助成団体：32 団体（うち、新規申請団体 10 団体）
- 助成金額：5,803,916 円
- 主な助成対象事業：子ども食堂、無料学習支援、学校の長期休暇中の居場所づくり

20 子どもの居場所創設サポート事業

(受託) 4,400,000 円

子ども食堂や無料学習支援等、地域で展開する子どもの居場所づくりを推進するため、必要な情報の提供、活動の周知や運営に関する相談など地域住民が活動しやすい環境づくりを進めるために、以下の事業を実施した。

1) 子どもの居場所づくりセミナー

地域で展開する子ども食堂や無料学習支援等、ボランティアや住民が運営する子どもの居場所づくりについて、開設・運営を進めるために必要な情報の提供や立ち上げなどを応援するために実施した。

① 「みんなでつくろう！子どもの居場所 子ども居場所づくりセミナー」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和4年6月29日(水) 緑区合同庁舎4階集団指導室	・基礎説明：子どもの居場所づくりについての基礎知識 ・相模原市の子ども居場所づくりへの保険について ・事例報告（くすのき広場 吉澤 肇 氏 S.I.C. 無料学習教室 穴戸 佳子 氏	33 人

② 「～学習支援講座～無料塾ってなあに？」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和4年10月2日(日) ユニコムプラザさがみはら セミナールーム1	・基礎説明：子どもの居場所についての基礎知識 ・講 演：「～学習支援講座～無料塾ってなあに？」 認定特定非営利活動法人八王子つばめ塾 小宮 位之 氏 ・グループワーク（講師への質問内容の収集、まとめ）	20 人

③ 「学生×子どもの居場所づくりセミナー」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和5年2月23日(木) ※Zoomによるオンライン開催	・基礎説明：子どもの居場所についての基礎知識 ・登壇団体による活動紹介 (おかげさん こども食堂、メダカのお弁当、青学生による学び場「ふらっと」、こども広場ウェルカム、かけはし、くすのき広場、おひさま、てらこや食堂ラッキーズ、さがみはら みらい塾) ・グループワーク（登壇団体+みんなの場てとてと参加） 話を聞いてやってみたいことや思いを共有。グループ内交流	17 人

2) 情報交換会

子どもの居場所づくりの運営を進める団体間の連携を推進するために実施した。

① 子どもの居場所運営団体情報交換会

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和4年5月30日（月） あじさい会館6階展示室	・行政からの情報提供（①食品衛生管理について、②子どもの居場所づくりに対する保険について） ・協力希望企業・団体等からの情報提供 (株)ファミリーマート、(株)スポーツクラブ相模原 ・グループワーク（自由な情報交換、意見交流） ・市社協、団体からの情報提供 ・寄付物品の配布	43人

② 子ども食堂運営団体情報交換会

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年1月30日（月） 市民会館第2大会議室	・協力希望企業・団体等からの情報提供 (株)スポーツクラブ相模原、さくらや相模原店、公益社団法人フードバンクかながわ、(株)Stock Base、(株)アサヒ飲料、生活協同組合ユーコープ ・子ども食堂運営団体からの情報提供 ・グループワーク（自由な情報交換、意見交流、質疑応答） ・寄付物品の提供	39人

③ 学習支援運営団体情報交換会

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年3月10日（金） ※Zoomによるオンライン開催	・協力希望企業・団体からの情報提供 公益社団法人フードバンク神奈川、NPO 法人文化学習協同ネットワーク ・グループワーク（団体内での課題に対しての意見交換、活動内でよかったエピソードの共有、各団体の今後の展開の共有等）	13人

3) 子どもの居場所普及啓発事業

「子どもの居場所」が少ない地域において、「子どもの居場所」への認知向上及び理解促進、また、地域が主体となった「子どもの居場所」創設に向けた意識醸成を図ることを目的に実施した。



① 「子どもの居場所パネル展@ねんりんピック」

開催月日・会場	内 容
令和4年11月13日(日) 横山公園	・展示観覧者：約300人 ・相談件数：9件 ・市内子どもの居場所活動のパネル展 ・子どもの居場所に関する出張相談会 ・ねんりんピックかながわ2022開催による各種ブースの一角にて開催

② 「子どもの居場所パネル展@小田急相模大野駅」

開催月日・会場	内 容
令和5年3月4日(土) 小田急相模大野駅子育て応援スペース、中央改札口付近	・展示観覧者：約500人 ・相談件数：32件 ・市内子どもの居場所活動のパネル展 ・子どもの居場所サイト・窓口啓発名刺、市内子どもの居場所一覧の配布 ・相模大野駅子育て応援イベントの一つとして、「ファミリー・サポート・センター事業紹介」と同時に開催

③ 「おためし子ども食堂@南区地域福祉交流ラウンジ」

開催月日・会場	内 容
令和5年3月25日(土) 南区地域福祉交流ラウンジ	・おためし子ども食堂(協力：TSUMUGU こども食堂) ・提供食数：50食 ・市内子どもの居場所活動のパネル展 ・展示観覧者：200人 ・対応件数：10組 ・「ラウンジふくしまつり」福祉ブース一角にて開催

4) 子どもの居場所総合相談窓口

子どもの居場所を立ち上げ、運営する団体の支援のため、本会(中央ボランティアセンター)に相談窓口を設置し、新規開設等に係る問合せ、子どもの居場所への寄付相談等を行った。

- 相談員：1人配置
- 対応件数：延べ3,585件
 - ・新規立ち上げ相談件数：29件
 - ・寄付相談 件数：94件
 - ・ケース対応相談 件数：15件

2 1 市民活動育成支援事業

(自主) 1,323,802 円

1) 市民活動団体への助成

当事者活動及びボランティア活動の支援を目的に、障がい児者・高齢者・子ども・難病患者等の福祉課題に取り組む団体に対する活動助成を行った。

- 助成対象：14 団体（うち、新規交付団体 3 団体）
- 助成総額：1,275,437 円

2) ボランティアセミナー

市民のボランティア活動を促進するため、活動紹介、活動の心構え、車椅子体験など活動の基礎を中心に本会職員による講習会を実施した。

- 開催回数：22 回（会場：緑区合同庁舎、あじさい会館、南保健福祉センター等）
- 受講者数：185 人

3) 課題別ボランティアセミナー

各地区に設置されたボランティアセンターやボランティアグループを対象に、メンバーのスキルアップや、コーディネートについての勉強会を開催した。

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和 4 年 10 月 28 日（金） 相模田名民家資料館	田名ボランティアセンター コーディネーター・サポーター研修会にて ・講義「ボランティアは楽しい！」 ・グループワーク 「登録票のリニューアル」 「田名地区でどのような参加の場をつくれるか」	22 人
令和 4 年 11 月 15 日（火） 城山総合事務所 2 階 B 会議室	「だれでもできる！パステルアートを体験しながら地域のボランティアを知ろう」 ・内容 城山助けあい支えあいセンターとの交流 ボランティア講師によるパステルアート体験 ボランティア体験談	13 人
令和 5 年 1 月 25 日（水） 相模湖総合事務所 3 階大会議室	「相模湖地区ボランティア交流会」 ・内容 ちょこっとボランティア相模湖、いるかバンクのボランティア体験談 津久井やまゆり園のボランティア活動 グループワーク	23 人
令和 5 年 2 月 17 日（金） 新磯公民館 2 階大会議室	新磯地区社会福祉協議会主催の福祉講座にてボランティアセミナーを開催 ・講義 前半 いるかバンク・有償ボランティア紹介 後半 新磯地区でのボランティア紹介 ボランティア活動者からの話	16 人

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和5年2月21日（火） 上溝公民館コミュニティ室	上溝ボランティアセンター 運営委員・サポーター研修会にて ・講義「ボランティアセンターを上溝で考える」 ・地元ボランティアグループ代表からのエピソード紹介	18人
令和5年3月29日（水） 藤野総合事務所4階大会議室	藤野地区ボランティア交流会 ・内容 おたがいさまネットふじの、藤野地区ボランティアグループ、市社協事業紹介 ハンドマッサージ活動体験 グループワーク	27人



4）相模原市市民活動中間支援施設連絡会（相模ボラディア）

市民活動中間支援施設の連携・協働を進めることを目的に定例的に会合を行い、団体間の情報共有を行った。また、新たな試みとして、協働事業「地元でプチ・インターンシップ～ボランティアムービーをつくろう～」の企画・実施を行った。

- 加入施設：ボランティアセンター、さがみはら市民活動サポートセンター、さがみはら国際交流ラウンジ
- オブザーバー：相模原市立青少年学習センター
- 定例会開催数：14回
- 「地元でプチ・インターンシップ～ボランティアムービーをつくろう～」

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年1月14日（土）～ 令和5年3月21日（火） あじさい会館6階展示室 けやき会館2階大研修室等	・市内在住・在学の大学生等が市民活動・ボランティア団体と協力し、ボランティア体験やヒアリング、インタビュー等により団体のPR動画（3分程度のショートムービー）を制作（9団体分） ・制作した動画は、WEB等にて活用	大学生等：5人 ボランティア団体：9団体

2.2 ボランティアセンター運営事業

(補助・自主) 5,479,688 円

1) 緑・中央・南ボランティアセンターの管理運営

- 活動把握ボランティアグループ：127 団体
- ボランティアセンター相談員 7 人配置

相談件数の状況

区 分	件 数
ボランティア活動相談件数	424 件
ボランティア依頼相談件数	152 件
その他相談件数	600 件
合計	1,176 件

ボランティア依頼内容

区 分		件 数
個人	通院介助	4 件
	学校・保育園送迎	3 件
	外出介助	3 件
	話し相手・見守り	11 件
	清掃関係	3 件
	その他	18 件
団体	レクリエーション指導	5 件
	日課活動補助	14 件
	イベント支援	32 件
	パフォーマンス披露	28 件
	その他	18 件
合計		139 件

2) ボランティアグループ活動等調査

ボランティアグループの活動状況を調査し、窓口での紹介及び本会ホームページでの情報提供を行った。

3) 「ねんりんピックかながわ 2022」におけるボランティア活動の支援

60 歳以上の選手を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典「ねんりんピックかながわ 2022」において、水泳・バウンドテニスの競技支援ボランティアの募集・当日の活動支援を行った。

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和 4 年 11 月 13 日 (日) 令和 4 年 11 月 14 日 (月) 横山公園 (水泳会場)・ 相模原ギオンアリーナ (バウンドテニス会場)	受付業務、選手や関係者への昼食・飲料水配布、会場内清掃、駐車場誘導、選手歓送迎などに交代で従事	68 人 (いるかバンク登録者、大学生、就労支援施設、企業等)

4) 「ねんりんピックかながわ 2022」におけるボランティア・ブースの出展

「ねんりんピックかながわ 2022」において、市民へのボランティア啓発及びボランティアの活動機会創出、高校生の市民交流の促進などを目的に、ボランティアセンターでブースを出展した。

開催月日・会場	内 容	来場者数
令和4年11月13日（日） 横山公園	・いるかバンク登録者による手作り品（絵画、書画、工作、俳句、折り紙等）の展示・配布 ・ボランティアに関する相談対応 ・写真によるボランティア活動の紹介 ・ボランティアによる活動実演及び体験コーナーの実施（①橋本高校生徒有志による点字用紙を使った箱づくり、②いるかバンクボランティアによるパステルアート体験、③いるかバンクボランティアによるアロママッサージ及びアロマ作り体験）	約 150 人



5) 「50代から始める地域活動マッチング相談会」におけるボランティア・ブースの出展

相模原市高齢・障害者福祉課主催で「50代から始める地域活動マッチング相談会」を開催。市民へのボランティア啓発及びボランティア活動企画創出などを目的に、ボランティアセンターでブースを出展した。地域活動に参加意欲のある方をマッチングする相談会およびパネル等の展示を行った。

開催月日・会場	内 容	来場者数
令和5年3月18日（土） 橋本公民館大会議室	50代から始める地域活動マッチング相談会参加 ・ボランティア活動相談ブース ・ボランティア活動のパネル展示	13 人



2.3 いるかバンクの運営

(自主) 144,571 円

ボランティア活動の促進を目的に、ボランティア登録制度「いるかバンク」を運営し、登録者に活動情報の提供を毎月行い活動機会の充実を図った。

- 登録者数：594 人
- 活動者数：延べ 2,023 人

1) いるかバンク通信の発行（ハガキ版：10 回、A4 両面版特大号：2 回）



2) 公式 LINE アカウントの活用によるボランティア活動情報の提供

情報発信ツール LINE の公式アカウントを活用して、ボランティア活動情報等の提供に取り組んだ。

3) 大学生や企業からのボランティア活動への対応

SDGs や社会貢献活動への関心が高まる中、学生や企業からのボランティア相談が増加した。相談者に向けて独自にボランティアセミナーを開催したり、細かくヒアリングしながら活動プログラムの開発を試みるなどの対応を行った。

4) いるかバンク登録ボランティア交流会「いるカフェ」の開催

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和 4 年 8 月 23 日（火） 緑区合同庁舎 2 階 緑情報交換ルーム	緑ボランティアセンター・いるかバンク登録者の交流 ・内容 「コラージュ」「アロマテラピー」体験 情報交換	15 人

2 4 防災ボランティア推進事業

(補助・自主) 166,893 円

1) 「災害ボランティアセンター立上げ講座」の開催(延期)

本市内で災害が発生した際の、「災害ボランティアセンター」の機能や運営等の考え方について、市民に周知するために、「防災とボランティア週間」の時期に合わせて企画した。「災害時における相互協力に関する協定」の締結先である相模原青年会議所の防災担当も参加した。

○ 共催：相模原災害ボランティアネットワーク、後援：相模原市

「災害ボランティアセンター立上げ講座」の開催

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和4年5月29日(日) あじさい会館6階展示室	講 義：「災害ボランティアセンターとは」 ～関係機関の役割分担と協働について～ (講師：ピースボート災害支援センター) ワーク：「ニーズとボランティアのマッチング体験」	29名

2) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

○ 主催：相模原災害ボランティアネットワーク(本会共催)

災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和4年12月3日(土) 市民会館第2中会議室	・市社協と相模原災害ボランティアネットワークの連携 ・防災から地域を知る(ハザードマップの活用) ・災害ボランティアセンターの機能と位置づけ ・災害ボランティアコーディネーターの役割 ・災害ボランティアセンター活動報告 ・グループワーク 災害VCマッチングシミュレーションゲーム 等	4名

・講座検討会を開催し、内容をリニューアルして開催した。

3) 災害ボランティア活動訓練

相模原市総合防災訓練(第43回九都県市合同防災訓練相模原市会場)の一環として、災害ボランティア活動への意識の高揚を図ることを目的に、ブースを設置した。

「自主防災隊の出発準備・帰着受入体験」、令和元年度に設置した相模原市災害ボランティアセンターの「パネル展示」、熱中症対策の飲料水とプログラム配布を仮想のニーズとした「災害ボランティアセンター運営訓練」、災害時に役立つ「資材展示」を実施した。訓練に参加した自主防災隊に対して、「受援力」についての資料を配布し、地域での取組みづくりを促した。

○ 日 時：令和4年9月4日(日)

○ 会 場：相模原総合補給廠一部返還地

○ 参加者：200人

4) 災害時相互協力連絡会議

「災害時における相互協力に関する協定書」に基づき、平時からの連携協力体制を図ることを目的に、市・市社協・公益社団法人相模原青年会議所・公益社団法人津久井青年会議所により開催した。

災害時相互協力連絡会議の開催

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年2月12日（日） あじさい会館6階ボランティア活動室	4者協定・地域防災計画について、団体の活動発表、情報交換	23人
関係参加団体：相模原災害ボランティアネットワーク、さがみはら国際交流ラウンジ、生活協同組合コーポ、清新愛の手ネットワーク、相模原赤十字奉仕団		

5) 市内自治会等防災訓練への協力

相模原市からの依頼に基づき、自治会等が実施する防災訓練において災害時要援護者支援訓練等への職員派遣及び訓練用資機材の貸出しを行った。

- 派遣件数：16件・派遣職員数：29人
- 訓練用資機材（車いす、段差）の貸出

25 ボランティア協会活動助成

（自主）1,450,000円

相模原ボランティア協会の運営及び活動に対する助成を行った。

1) ハンディキャブ号の運行

- 活動件数：795件 利用者数：延べ1,130人
- 運転ボランティア：延べ795人 活動介助ボランティア：今年度は活動なし

2) ボランティア養成講座の開催

ア 傾聴ボランティア養成講座

開催月日：令和4年7月9日（土）、16日（土）、23日（土）

会 場：あじさい会館6階展示室

参加者：97人

イ 春講座 「ボランティア見本市ーPart2 新しいボランティアのかたち」

開催月日：令和5年3月25日（土）

会 場：あじさい会館6階展示室

参加者：25人

2.6 地区住民相談支援活動推進事業

(自主) 1,081,826 円

地域の支えあい活動や相談支援活動をより効果的に進めるための専任担当者として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を市内全 22 地区に配置し、「個別支援（既存の制度だけでは対応困難な個別ニーズの把握と相談支援）」及び「地域支援（地域の支えあい活動の推進、専門機関等との連携体制の構築等）」に取り組んだ。

また、「個別支援」を通して把握した地域課題や「生活支援体制整備事業」から出された福祉課題について、住民や地域団体と情報共有し、課題解決に向けた「地域の仕組みづくり」について検討した。

CSWによる支援の状況

	実相談件数	延支援回数
個別支援	260 件	3,777 件
地域支援		10,574 件

1) 個別支援

○ 相談支援の状況

① 相談内容 対象者別（延べ件数）

内 容	件数	内 容	件数
高齢	125 件	外国籍	8 件
身体障がい	13 件	疾病	49 件
知的障がい	12 件	無職	20 件
精神障がい	57 件	ひきこもり等	22 件
発達障がい	2 件	依存症	2 件
一人親	8 件	その他	40 件
子ども	27 件	不明	10 件
合 計			395 件

② 相談内容 課題別（延べ件数）

内 容	件数	内 容	件数
認知症	23 件	出産・子育て	14 件
経済的困難	64 件	虐待・DV	13 件
金銭管理	24 件	精神的不安	58 件
家事等困難	14 件	孤立	46 件
介護	16 件	近隣トラブル	29 件
就労	13 件	偏見・無理解	5 件
ごみ問題	13 件	社会資源不足	19 件
住居問題	29 件	その他	179 件
ひきこもり	2 件		
合 計			561 件

2) 地域支援

ア 地域支援の状況

○ 啓発活動

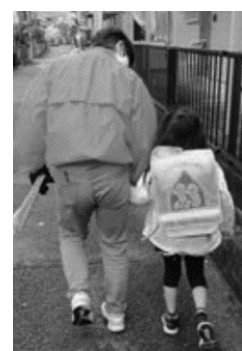
- ・ CSW 実践報告「こんにちは！CSW です。」の発行と周知
(民生委員・児童委員へ 各地区民児協定例会を通じ CSW の取組を報告し、各地域団体へも活動について周知を行った。)
- ・ タウンニュースへ地域の福祉活動について情報提供し、住民活動の啓発を行った。



こんにちは！CSW です。

○ 各機関との関係構築・連携

- ・ 障害者相談支援キーステーションや松が丘園との情報共有
- ・ 若者世代の居場所づくりについて、就労支援事業所等関係機関との連携
- ・ 通学支援が必要な児童のボランティア活動支援と、通学支援に関する課題をボランティアセンターと検討
- ・ 総合情報システム「こころ」による本会内での情報共有化と連携
- ・ 各区の包括連絡会へ参加し、CSW 実践事例の報告やグループワークを通じた CSW の役割を共有
- ・ 関係機関との関係構築及び連携を目的として、「市就職支援センター・CSW 情報交換会」を実施
- ・ 地域包括支援センターが開催するケアマネジャー交流会に参加し、CSW の活動事例や地域資源の状況の説明を通して CSW の役割を共有
- ・ 南高齢・障害者相談課が開催する精神保健事例検討会に参加し、地域資源の状況の説明を通して CSW の役割を共有
- ・ 市主催「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」～精神障害者の地域移行関係職員に対する研修～、において CSW の地域におけるアウトリーチの実践について報告。他機関と情報共有、連携強化



通学支援の活動の様子

○ 地域でのネットワークづくり

- ・ 地区社会福祉協議会や地区ボランティアセンターとの連携
- ・ 子どもの居場所運営団体と地域や企業などとのつながりの推進を支援

- ・地域の多様な主体や当事者の参加による地域とのつながりの推進を目的として、小・中学校とボランティアセンター、地域のボランティアグループや福祉施設、関係機関等と連携して、地域に根差した福祉教育の実施を支援



地域に根差した福祉教育を支援

3) CSW 研修等の実施

・ CSW 全体研修の開催

開催月日	内 容
令和 5 年 1 月 26 日 (木)	○説 明 第 9 次地域福祉計画から～ CSW の第 9 次地域福祉計画見直しアンケート 市社協 総務課企画財政係 職員 ○グループワーク 「相模原市社協の CSW について、みんなで考えよう！」 ・ CSW による意見交換を実施

・ CSW リーダー・中堅職員研修会の開催

開催月日	参加人数	内 容
令和 4 年 11 月 28 日 (月)	10 人	・ コーチングについて ・ 「地域共生社会の光と影」 ～重層事業は地域に良い影響を与えるのか～ 講師 東京都立大学 准教授 室田 信一 氏

・ 事例検討会等の開催、参加

区 分	内 容
CSW 事例検討会 グループスーパービジョン	区ごとに月 1 回程度、事例検討会を実施。事例検討や情報共有を図るとともに、必要に応じて、田園調布学園大学 隅河内司教授の助言を受けた。
南・緑キーステーション グループ・スーパー・ビジョン	キーステーション主催の GSV に参加 参加している機関との情報交換および地域課題の共有を図った。
中央区 グループ・スーパー・ビジョン	社会福祉事業団（松が丘園）主催の GSV に参加 参加している機関との情報交換および地域課題の共有を図った。
中央・勉強会	主任以下の職員を対象とした勉強会を月 1 回実施 各地区の取り組み等、情報共有を図った。

27 生活支援体制整備事業

(受託) 54,335,000 円

29 日常生活圏域に「生活支援コーディネーター」を配置し、各圏域の地域包括支援センターとの連携・協働により、介護予防・日常生活支援総合事業による高齢者を支える仕組みづくり等を「地域づくり部会」の運営支援を通じて取り組んだ。

29 圏域の「生活支援体制整備事業」主な取組

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
1	橋 本	○ 誰もが住みやすいまちづくり ・ 個別事例部会から複雑・複合的課題のある世帯の課題を把握し、見守り合いのあるまちづくりのために「精神疾患のある方を地域で見守るための基礎講座」を開催。32 名が参加	4 回
2	相 原	○ 担い手づくり ・ ボランティアが活躍する交流や介護予防活動の場を見学できる「オープンデイ」を実施。見学をきっかけに 4 人がボランティア活動に結びついた。 ・ 新たに交流の場を立ち上げたい人を対象とする「私にもできる！地域交流ボランティア講座」を市社協緑ボランティアセンターと協力し開催。13 人が参加。紹介した交流の場で活動を開始した人がいるほか、令和 5 年度に再度参加者同士で集まり、今後の活動について検討することとなった。	
3	大 沢	○ 地域アセスメント及び福祉関係者のネットワークづくり ・ 地区内を 6 会場に分け、民生委員、介護支援専門員、地域包括支援センターとの情報交換会を実施。17 自治会ごとに地域アセスメントを実施し、地域の良いところと課題をグループワークで行い、可視化して共有。関係者間で連携方策について具体的に共有し、ネットワークを構築した。 ○ お散歩プロジェクトの企画 ・ 情報交換会の結果をもとに、いつまでも元気に地域で助け合って住み続けるために「自然いっぱい歩いてつながる大沢さんぽ」を次年度以降、具体的に進めることになった。 ○ 移動販売等買い物支援 ・ 民生委員、自治会等で市内の移動販売等の実態を把握し、個人宅もあったため、地域包括支援センター・介護支援専門員等相談機関で共有 ○ 居場所づくり ・ 百歳体操など再開や拡大に向けた活動支援 ○ 部会活動情報紙「おおさわの風」1 回発行	3 回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
4	城 山	○ 外出支援 ・ 地域づくり部会の作業部会として、外出支援についての検討を行なう「おでかけの“わ”委員会」を開催して、参加の場及び買い物、通院など、移動支援について協議 ・ サロン等の参加者の送迎を3ヶ所で実施（社会福祉法人城山楽寿会から車両および運転手の協力、サロンから添乗の協力） ・ デイサービスを実施する民間事業者から、車両および運転手の協力を得て、買い物の支援を試行的に実施 ・ 若葉台地区における「グリーンスローモビリティ運行支援事業」の取組との連携および協力、支援 ・ 外出支援の担い手養成のため、市主催の外出支援ボランティア担い手養成講座等に参加 ○ 見守り活動 ・ 個別事例部会においてテーマとなった高齢者の地域での見守りについて、地域でできる取組について検討 ○ 居場所づくり ・ シニアサポート活動の運営支援 ・ ふれあい・いきいきサロンや地域住民交流の場、認知症カフェ「まんまるえがお」（オンライン開催）などの支援	4 回 作業部会 10 回
5	津久井	○ 買い物支援の検討 ・ 移動販売について、聞き取り調査を実施。 ・ 移動販売から、早期に取り組める「買い物バス」にシフトし検討 ・ 試行事業として「買い物バス」を2回実施 ・ 試行実施の結果を整理し報告 ○ 買い物バス試行運行（全2回） 1回目：10月11日（火）、2回目：11月8日（火） 時間：午前10時～正午 行き先：三ヶ木周辺 対象地区：青野原地区 参加者数：両日5人	3 回 買い物バス試行運行 2 回
6	相模湖	○ 居場所づくり ・ シニアサポート活動への運営支援 ○ 生活支援 ・ 住民相互の支えあい活動「ちょこっとボランティア相模湖」への運営支援 ・ 買い物支援について 既存の交通機関を利用した買い物についての検討 ・ 地域づくり部会だより第2号（悪質商法についての注意喚起）発行（2,600部）。自治会を通じて全戸配布。公共施設や金融機関、医療機関へ配架	4 回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
7	藤 野	○ 外出支援・買物支援 ・ 「ももちゃんサロン」の買い物ツアーの活動支援として月1回「藤野課題検討会」に包括とともに出席し、意見交換や助言を行った。また、学習会の企画や、市の担い手養成研修会などの情報提供を行った。 ・ 外出支援活動を希望している地域住民に対して、市の担い手養成研修の参加促しや市の外出支援策の説明会等の情報提供を行った。 ・ 藤野台住民の移動外出支援として買い物ツアー、「ももちゃんサロン」を月2回実施 ○ 見守り活動 ・ 地域の「ゆるやかな見守り」について自治会長会議にて2回説明 単位自治会1回説明 ・ もしばなゲームを地域で開催する場に包括とともに参加し「ゆるやかな見守り」について説明 ・ 健康フェスタふじのにて「みまもりあいプロジェクト」の行方不明者捜索アプリの普及と啓発を兼ねてスタンプラリーを実施 ○ 地域づくり部会 4回開催 ・ 外出支援、ゆるやかな見守りについて協議 ・ 健康フェスタの参加について協議 ・ もしばなゲームの体験 ・ 第8期高齢者保健福祉計画の振り返り ・ 次年度計画について協議	4 回 藤野台課題検討会 12 回
8	小 山	○ 介護予防を目的としたお出かけマップづくり ・ 掲載内容、配架場所、活用方法の検討 ・ 作業部会の立ち上げ ○ 地域づくり部会だより 2 回発行 ○ 居場所づくり ・ サロン団体の立ち上げ（5 か所）	4 回 作業部会 2 回
9	清 新	○ 介護予防に関する取り組み ・ 地域包括支援センター及び公民館と連携し、地区内の介護事業所を回る「ウォーキングおたすけマップ」を実施 ○ 生活支援 ・ 清新地区社協「ちょこっとボランティアくらぶ」で継続的にごみ出し活動を実施 ○ 担い手づくり ・ 「ちょこボラ」の定例ミーティングにおいて、シニアサポート活動について啓発し、担い手について呼びかけ ・ 「サロン・ボランティアグループ合同連絡会」でシニアサポート活動について情報提供。担い手について呼びかけ ○ 集いの場について ・ 誰もが気軽に立ち寄れる場所について検討。先駆的な活動を行っている田名地区の活動を視察、情報交換を実施	5 回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
10	横 山	○ 買物支援・居場所づくり ・ 企業と連携した「移動販売」を実施。見守り支援・移動支援・情報提供・集いの場として、3箇所で小コミュニティを形成 ○ 生活支援 ・ シニアサポート活動訪問型（1か所）、通所型（1か所）を新たに立ち上げ ○ 啓発活動 ・ 世界アルツハイマー月間に向け、認知症の理解と見守りの促進を図る「オレンジプロジェクト」を実施。オレンジプロジェクトの一環として、医療・福祉施設と連携し、介護予防教室を開催。 ○ 医療・福祉施設と地域住民とのネットワーク化 ・ 医療・福祉施設従事者との会議を2回開催。施設間の情報共有及び地域との顔の見える関係づくりを行った	8回 作業部会 4回
11	中 央	○ 小地域のお出かけマップづくり ・ 矢部地域版を増刷 ・ 12月に地域づくり部会だよりを発行し、活動を周知 ・ 3月にお出かけマップを活用したウォーキング企画を実施 ○ 居場所の取組を検討 ・ 居場所の在り方を検討するとともに、移動式の情報提供型の居場所のモデル事業として「ふれあいいきいき広場相生版」を開催	4回
12	星が丘	○ 星が丘版地域包括ケアシステムの実現に向けた取組 ・ 地域包括ケアシステムを理解するための動画講座を開催 ・ ヘルパーステーション千代田事業所との情報交換会を開催 ・ 地域で支える駐車場の提供「星が丘 kizuna パーキング」の仕組みを検討 ○ 地域における見守り体制の推進 ・ 見守りを必要とする仲間同士のLINEグループ化や自ら発信する仕組みを検討 ・ 民児協や自治会、老人クラブ、商店等の見守り連携会議を検討 ○ 地域づくり部会だより2回発行	5回
13	光が丘	○ 居場所づくり ・ だれでも参加できる百歳体操会場の推進・活動支援 ○ 困りごとの検討買物支援 ・ 大型荷物等の運搬に関する高齢者のニーズ調査を実施 ・ 高齢になっても続けられる地域サークル活動の調査 ○ 買い物支援 ・ 光が丘買い物お助け隊の活動支援・課題検討	3回 グループ会 7回
14	大野北 第1	○ 通いの場づくりの普及について ・ 通いの場講座を開催（2回）	全体会 1回 検討チーム 4回
15	大野北 第2	○ ちょっとした困りごと支援について ・ 他地区ボランティアセンター等を視察し、仕組みについて検討 ・ ちょっとした困りごと支援普及啓発チラシの発行	通いの場講座 2回 他地区視察 1回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
16	田 名	○ 居場所づくり ・ 「シニアサポート活動（訪問型）」の活動支援 ・ ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を地区社協・老人クラブ・公民館と協力し介護予防の普及と世代間交流の機会を創出。 ・ 農作業の場「田名ふれあい交流農園」活動支援 ○ 自治会館や公民館で行っている活動の調査と各団体の取組の情報共有 ○ 第8期高齢者保健福祉計画期間中の取組の検討と共有	4 回
17	上 溝	○ 相談窓口づくり ・ 「高齢者相談つながりの家」実施 ○ 認知症を地域でささえる仕組みづくり ・ 「認知症・物忘れ」について理解を地域に広めるための意見交換、検討	4 回
18	大野中	○ 調査 ・ 鶴野森地区在住の高齢者を対象とした「困りごとアンケート調査」を実施 ○ 担い手の募集 ・ おおのなかボラセンの活動や依頼の状況把握、活動の周知を行った。 ○ 地域との連携 ・ 「～みんなつながる～おおのなかでできること宣言」協力事業所の開拓	4 回 (うち1回は 大野中地区 3 包括圏域 合同部会)
19	大 沼	○ 地域情報の提供 ・ 住民活動の訪問と情報の収集・発信、新たな団体の発掘 ○ シニア世代のボランティア活動を支援 ・ 高齢者による、子どもたちを支援するボランティア活動の把握 ○ 見守りの啓発 ・ 単位自治会区をモデル地区として実施した地域意識アンケートを分析 「見守りの勉強会」について検討	4 回 (うち1回は 大野中地区 3 包括圏域 合同部会)
20	大野台	○ 地域資源の把握・検討 ・ 住民活動の訪問と情報の収集・発信、新たな団体の把握 ○ 地域活動の担い手支援 ・ 担い手が抱える課題の把握、新規サロンの立ち上げ支援 ○ 健康づくりを目的とした「お散歩マップ」の作成	4 回 (うち1回は 大野中地区 3 包括圏域 合同部会)
21	大野南	○ 地域課題の把握・検討 ・ 民生委員およびケアマネジャーによる小地域ごとの話し合いから挙げた地域の強みや困り事を見える化し、地域課題の検討を実施 ○ 生活支援 ・ 介護事業所スタッフのごみ出しボランティア活動実施に向けた支援 ○ 啓発 ・ 相模大野図書館、認知症家族の会や学生、地域包括支援センターと連携し、館内に「情報発信コーナー」設置による認知症に関する啓発	2 回 (うち1回は 大野南地区 2 包括圏域 合同部会)

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
22	上鶴間	○ ニーズ把握 ・ アンケート調査の結果をまとめ、買い物支援のニーズや生活課題を整理 ○ 買い物支援 ・ 買い物情報リストおよび移動販売に関する取組について検討 ○ 世代間交流 ・ 上鶴間全域で「ぞうきんプロジェクト」を実施。地域から集まった雑巾を上鶴間の教育機関等へ配布し、学校等とのネットワーク構築を図った。また、「ぞうきんプロジェクト」から発掘した担い手を教育機関側のニーズに合わせ、ボランティア活動へのつながりを支援	5 回 (うち 1 回は 大野南地区 2 包括圏域 合同部会)
23	麻 溝	○ 外出支援 ・ モデル地区古山台に関して、第 1 回目の麻溝買い物支援試験運行実施 ・ 第 1 回 令和 5 年 1 月 20 日 (金) に実施。参加者 4 名 ・ 第 2 回 令和 5 年 3 月 17 日 (金) に実施。参加者 4 名 ○ 担い手の養成 ・ シニアサポート活動スタッフ講座を年 2 回開催。延べ 28 名が受講 ・ 移動支援に関する担い手を確保するため、移動支援担い手講習会等への周知、働きかけを行い、6 名が受講し担い手の養成が図られた。 ○ 多世代交流及び通いの場 ・ シニアサポート団体が新たに「畑々中いきいき百歳体操」「麻溝健康ラボ」「古山はつらつ体操」と 3 か所増え、通いの場が広がった。 ・ 「多世代交流」を目的に子どもから高齢者の居場所「あさみぞ癒し倶楽部」の立ち上がり、毎月第 2 月曜日 将棋、囲碁、麻雀等を通じた交流を開始	6 回
24	新 磯	○ 地区内の見守り情報の把握 ・ 地域の方に活用いただける情報（地域の見守り情報等）を発信するため、「あらいそ知ってお得な情報紙」を発行 ○ 移動支援の仕組みづくりについて検討 ・ 「新磯おでかけサポートわ・わ・わ」にて自家用車を活用した個別の移動方法について検討 ・ 試行実施 2 回開催(買い物、通院) ○ 昨年に引き続き、介護保険事業所等連絡会による徒歩での外出支援として、ベンチの設置やトイレ利用のマークの掲示を行った。 ○ 新磯健康づくりポイント事業の実施 ・ 地域の店舗等の協力によるスタンプラリーの実施を通して、徒歩での外出による新たな地域の発見と健康増進を図った。 ○ 地域の見守り体制のニーズ調査について検討 ・ 新磯地域住民の実態と意識調査の実施に向けて検討を進めた。 ・ 講師を招き孤立化の概要、調査方法についての研修会を開催	5 回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
25	相模台 第 1	<相模台第 1・相模台第 2 合同> ○ 居場所づくり ・ 外出時の休息に活用する「ベンチ」の事業所、店舗等の設置促進（設置趣旨表示「ステッカー」配布、ベンチマップの作成等） ・ 高齢者の運動や外出促進を目的とした健康講座及びウォーキングラリーの開催 ○ 部会情報提供 ・ 「地域づくり部会だより」の自治会配布	合同 3 回
26	相模台 第 2	<相模台第 1> ○ 見守り活動 ・ 「気になる人」の早期発見・情報共有のための「チェックリスト」をサロンの担い手や自治会長へ周知を行うとともに、活用方法を検討した。 ○ 居場所の確保 ・ 誰でもふらっと立ち寄れる居場所としての「ふらっと相模台」を再開 <相模台第 2> ○ 口腔ケアの地域啓発活動 ・ 相模原市歯科医師会と連携し、健口カレンダーを作成し配布した。 ・ サロン等の集いの場で問診表を実施し、その結果に応じて市歯科医師会によるオーラルフレイル予防教室を実施した。 ○ 買物支援 ・ ニーズのある溝上・御園南地区にて野菜販売会を実施した。御園南地区では地区内の障がい事業所に協力いただきマルシェを開催した。	相模台第 1 2 回 相模台第 2 3 回
27	相武台	○ 住民主体によるごみ出し支援の仕組みづくり ・ 管理団体の承諾を得て、ごみ出しの支援を受けている人を対象に、時間外にごみ出しをすることができる仕組みを実験導入した。 ○ 住民主体による地域参加のきっかけづくり ・ 地域内ウォークラリーに参加した住民にアンケートをとり、地域活動への参加の意思を確認する。参加希望の住民には地域団体のマッチングを行う。令和 4 年度は 6 名の参加があった。	4 回
28	東 林 第 1	○ 地域とつながるきっかけづくりのための情報発信・講座の開催 ・ 足の爪に関する悩みの相談先や専門機関の情報を発信するための情報紙の発行 ・ 薬や認知症予防についての講座の開催 ・ 認知機能測定や脳年齢測定ができる体験型相談会の開催 ○ マンション居住高齢者の見守り・サポート活動の仕組みづくり ・ 活動の自粛傾向が続くマンション内の新たなニーズ把握のためのマンション自治会交流会の開催 ○ 高齢者の外出機会の創出 ・ 商店街協力のもと、認知症高齢者にも担い手として参加いただきながら野菜を販売するふれあい市場を開催	4 回 (うち 1 回は 東林地区 2 包括圏域 合同部会)

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
29	東 林 第 2	○ 生活支援ニーズの把握 ・シニアサポート団体や高齢者サロンにて、高齢者ニーズの聞き取りや活動状況の把握 ・近隣に集いの場が少なく高齢者が多く生活している集合住宅について、高齢者ニーズの把握 ○ 生活支援活動団体の立ち上げ及び担い手の確保 ・既存シニアサポート団体のメンバーを中心にワーキンググループを組織し、生活支援団体立ち上げに向けて検討 ・シニアサポート団体の担い手確保のための広報紙を作成 ○ 複合的な課題を抱え地域から孤立する世帯への支援ネットワークの形成 ・「みんなで考えよう ひきこもるということ」をテーマに啓発講座を開催	4 回 (うち 1 回は 東林地区 2 包括圏域 合同部会)

28 女性のつながりサポート事業

令和3年度に相模原市から受託した「女性のつながりサポート事業」を、市社協が独自事業として引き継ぎ、顕在化した女性を取り巻く課題の解消に向け、プロジェクトチームにおいて対象者へのアプローチ方法や必要な支援策の検討を行い、10・20歳代のための居場所「ふたば Room」を開催した。

1) プロジェクトチームの開催

回数	開催月日	内 容
1	令和4年11月15日(火) あじさい会館 ボランティア活動室	今年度の取組と今後の進め方について、昨年度実施した事業の振り返りとより支援策が不足していると考えられる対象者像について検討
2	令和4年12月14日(水) 南保健福祉センター 情報交換ルーム	学生と単身非正規雇用への支援について、昨年度女性のつながり事業で生理用品の受け取り時に実施したアンケート結果をクロス集計して分析。プロジェクトメンバーの各所属における、対象者へのかかわりや相談状況と課題を共有。相模女子大学奥貫准教授から現在の学生の置かれている状況について助言をいただいた
3	令和5年1月16日(月) 南保健福祉センター 情報交換ルーム	企画①10・20歳代のためのサロンについて、具体的な実施時期や内容を検討 企画②単身非正規雇用の女性を対象にした事業については、想定される課題の洗い出しや関連する既存の団体を挙げ、情報収集を行っていくことを共有した。

回数	開催月日	内 容
4	令和 5 年 1 月 30 日(月) あじさい会館 ボランティア活動室	10・20 歳代のためのサロンを実施するにあたり、1 月 22 日にソレイユさがみで学生向けの食料配布時に実施したアンケート結果を共有。具体的な内容について、20 歳代職員が決めた名称「ふたば Room」の開催内容について検討した。 ⇒後日、花王の社会貢献によるメイク講座を実施することが決定。
5	令和 5 年 2 月 20 日(月) 南区地域福祉交流ラウンジ	「ふたば Room」について、作成したチラシの確認と今後の周知について検討。SNS による情報発信を行っていく。2 月 18 日に青少年学習センターで学生向けの食料配布時にチラシの配布とアンケート調査を実施したことを報告。また、市の共催事業として申請中であることを共有するとともに寄付物品の確保について検討した。

2) ふたば Room の開催

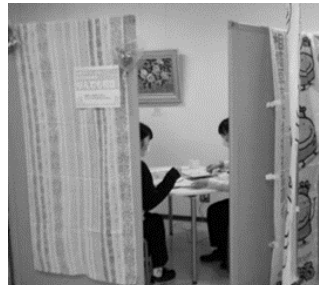
<事前の打ち合わせ>

回数	開催月日	内 容
1	令和 5 年 3 月 6 日(月)南区地域福祉交流ラウンジ	メイク講座を担当する花王との打合せ
2	令和 5 年 3 月 14 日(火)あじさい会館	当日の段取りについて最終確認

<当日について>

開催月日	内 容	参加者数
令和 5 年 3 月 20 日(月) 南区地域福祉交流ラウンジ	①効果的なスキンケアとメイクを学ぶ「メイク講座」*要予約 ②女性相談員による女の子のための「なんでも相談」 ③相模原の情報提供コーナー ④推し活応援!ぬい撮り・アクスタ用フォトスポット	16 人

- ・参加者の感想としては、「かわいい空間で幸せな気分になれた」「親身にお話を聴いて頂けて嬉しかった」、「メイク講座に参加しない人がおしゃべりできるスペースがあるとよかった」等があった。
- ・企画内容に対して、「自分たちの世代に寄り添ってもらえていると感じられた」との意見があった。
- ・そのほか、「今後も継続して実施していくのか」との質問多数あった。
- ・なんでも相談では、仕事や人間関係、精神的な不安感の相談や、女性特有の病気に関する相談があった。



2 9 重層的支援体制整備モデル事業

(受託) 9,999,000 円

社会福祉法第 106 条の 4 第 2 項第 3 号に規定される「重層的支援体制整備事業（地域づくりに向けた支援）」に向けて必要となる調査研究及び同事業への地域住民等の理解を醸成することを目的に専任職員 1 名を配置し、市が定めたモデル地区（藤野地区・田名地区・大野南地区）における地域資源の調査及び研修会を実施した。

1) 地域資源等の把握

ア 地域活動の把握

各地区の居場所及び地区ボランティアセンターの取組について 27 か所を訪問し、活動状況を把握した。

イ 相模原市が定めたモデル地区（藤野地区・田名地区・大野南地区）における地域資源等の調査、データベース化及びその活用方法の検討

○ 調査項目

基礎情報	人口等（人口、世帯数、高齢化率 等）
	地域組織・団体（地区社協、地区民児協、ボランティア団体の概要 等）
社会資源情報	行政機関・学校・公園・緊急避難場所
	医療機関（病院、老人保健施設 等）
	施設・事業所等（高齢・障がい・児童・生活困窮者関連）
	住民福祉活動（地区ボランティアセンター、移動支援 等）
	交流拠点・居場所（サロン、認知症カフェ、子どもの居場所 等）
	企業による活動（さがみはら SDGs パートナー登録企業・団体 等）
	買い物支援・移動支援（移動販売拠点、配達業者 等）

○ 調査結果

- ・情報の多くはカテゴリーごとの一覧表や WEB サイトとして存在し、地区ごとにまとめられたものは地域包括支援センターの地域情報紙等（高齢者向け情報）や地区社協の子育てマップ等の紙ベースで、目的が明確なものに限られた。
- ・企業からの福祉活動への協力依頼がある反面、さがみはら地域福祉ネットワーク等の企業情報が活用されていない場合が散見された。

上記の調査から、新たに地域活動への参加を希望する個人、福祉施設、企業が手軽に自らの周辺地域の情報をインターネット上で入手できる仕組みが必要である旨、市に対して提案を行った。

2) 重層的支援体制整備事業（地域づくりに向けた支援）への理解の促進

ア 地区社協等地域団体の役員等を対象とした研修の開催

開催月日・会場	内 容	参加者数
令和5年1月20日（金） あじさい会館6階展示室 （オンデマンド配信会場： 藤野総合事務所3階会議室）	「支えあいの地域づくりに向けた変革を目指して ～重層的支援体制を支える地域づくり～」 講師 駒澤大学 文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上 富雄 氏	43 人 配信 8 人

イ 社会福祉法人等事業者を対象とした研修の開催

開催月日・会場	内 容	参加者数
①令和5年2月7日（火） あじさい会館6階展示室 （※ライブ配信も同時実施）	「求められる地域公益活動について ～身近な地域の課題解決に向けた地域貢献の在り方～」 講師 駒澤大学 文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上 富雄 氏 ＜事例発表＞ ①社会福祉法人による移動支援協力（藤野地区） 特別養護老人ホーム銀の館 施設長 小檜山 仁 氏	①7 人 配信 36 人
②令和5年3月1日（水）～ 3月31日（金） 録画動画配信にて実施 （※市内福祉施設や企業等が対象）	②社会福祉法人による生活困窮者支援 特別養護老人ホーム塩田ホーム 副施設長 横山 雅弥 氏 ③社会福祉法人による地域に出向いた親子サロンの開催 ひよこ第3保育園 園長 清水 淳一郎 氏	②91 人

ウ 「重層的支援体制整備事業（地域づくりに向けた支援）」に合致する既存又は、新たな取組の周知及び活動の基盤整備及び支援

- 空き家に関するホームページコンテンツの作成
 - ・空き家や空き店舗の活用促進を目的に本会ホームページ「さがみはらつながりアクション」内に新コンテンツ「with 空き家」を設け、3事例を紹介した。
- 企業情報の提供
 - ・モデル地区において、地域活動への協力が見込まれる企業の情報を提供し、今後の協力に向けた調整を実施することとなった。
 - ・モデル地区で得た情報として県営団地、UR が実施している移動販売事業の登録制度について買い物等に課題を抱える地区への情報提供を行った。

3) モデル地区への説明

事業の検討経過及び情報共有のプラットフォームに求められる機能及び仕様についてモデル地区の地区社協役員に説明を行い、令和5年度以降プラットフォームの構築を進める旨了承された。

③ あんしんセンター事業

従来から取り組む権利擁護事業に併せて、成年後見制度の利用促進事業の強化を図ることを目的に、「さがみはら成年後見・あんしんセンター」にて、権利擁護に係る総合的な事業推進に取り組んだ。

1 法人後見事業

(自主) 3,601,812 円

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、家庭裁判所の審判による成年後見人等として、被後見人等の財産管理及び身上保護等の法定後見業務を行った。

初回相談・継続相談件数

内 容	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	障がい者			その他 不 明	
		知 的	精 神	身 体		
初回相談	1 件	1 件	一件	一件	一件	2 件
継続相談	一件	1 件	一件	一件	一件	1 件

支援件数

内 容	件 数
訪問等による直接支援	317 件
訪問以外の相談、連絡、調整等	1, 518 件

受任件数（令和 5 年 3 月末）

類 型	認 知 症 高 齢 者 等	障がい者		合 計
		知 的	精 神	
後 見	9 件	3 件	2 件	14 件
保 佐	2 件	5 件	4 件	11 件
補 助	－件	1 件	－件	1 件
合 計	11 件	9 件	6 件	26 件

権利擁護事業審査会の開催

回 数	内 容
年 6 回	契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等について検討

○ 職員体制：法人後見専門員 3 人

2 日常生活自立支援事業

(補助・自主) 30,134,652 円

判断能力が不十分な障がい者・高齢者のために、福祉サービスの契約手続や日常生活費の出し入れ、公共料金等の支払代行、定期預金通帳などの重要書類の預りを行った。また、毎月第4火曜日に、弁護士による人権や財産に関する権利擁護相談を実施した。

相談援助件数

内 容	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	障がい者			その他 不 明	
		知 的	精 神	身 体		
問合せ	－件	－件	－件	－件	－件	－件
初回相談	72 件	13 件	31 件	1 件	3 件	120 件
相談援助	2, 231 件	502 件	2, 265 件	98 件	59 件	5, 155 件
合 計	2, 303 件	515 件	2, 296 件	99 件	62 件	5, 275 件

利用契約者数（令和5年3月末）

区 分	認知症 高齢者等	障がい者			その他	合 計
		知 的	精 神	身 体		
① 福祉サービス利用援助・ 日常的金銭管理サービス	66 人	25 人	74 人	10 人	2 人	177 人
② 書類等預かりサービス	5 人	12 人	6 人	1 人	一人	24 人
③ ①②サービスの両方契約者 (利用者数は、重複)	5 人	3 人	6 人	1 人	一人	15 人
実利用者数(令和5年3月末)	66 人	34 人	74 人	10 人	2 人	186 人

権利擁護相談件数

内 容		高齢者	障がい者			合 計
			知 的	精 神	身 体	
財産関係	相続・遺言	18 件	1 件	1 件	－件	20 件
	財産侵害	1 件	－件	－件	－件	1 件
	財産管理	－件	－件	1 件	1 件	2 件
	金銭・消費契約	－件	1 件	1 件	－件	2 件
人間関係	婚姻・離婚	1 件	－件	－件	－件	1 件
	家族・親類	1 件	－件	－件	－件	1 件
	隣人・知人	3 件	－件	－件	－件	3 件
	その他	－件	－件	1 件	－件	1 件
生活関係	施設処遇等の問題	－件	－件	－件	1 件	1 件
権利擁護関係	成年後見制度全般	－件	2 件	2 件	－件	4 件
	法定後見制度	1 件	－件	－件	1 件	2 件
	その他	－件	－件	－件	1 件	1 件
その他		1 件	－件	－件	－件	1 件
合 計		26 件	4 件	6 件	4 件	40 件

権利擁護事業審査会の開催（再掲）

回 数	内 容
年 6 回	契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等について検討

権利擁護事業内部審査会の開催

回 数	内 容
年 9 回	審査会で諮るべき事案に当てはまらない新規案件について、契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等の検討

連絡会等の開催

会議名	回 数	内 容
日常生活自立支援事業担当者・専門員・生活支援員連絡会	年 3 回	日常生活自立支援事業について連絡・周知・情報交換制度変更について
日常生活自立支援事業担当者・専門員連絡会	年 8 回	日常生活自立支援事業について連絡・周知・情報交換制度変更について
日常生活自立支援事業担当者・生活支援員連絡会	年 2 回	日常生活自立支援事業について連絡・周知・情報交換

普及啓発事業等

区 分	内 容
あんしんセンター事業説明会	日常生活自立支援事業の料金改定及び事業内容周知の為、地域包括支援センター開催の研修会等の中で事業説明を実施
あんしんサポーター事業	登録者 9 人（市民後見人養成研修修了者が対象） 養成研修修了者の意欲等の向上を図り、日常生活自立支援事業利用者の社会関係をより豊かにすることを目的に、成年後見人等を受任するまでの間、権利擁護に係るボランティアとして活動する場を提供 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動は中止
あんしんセンター登録型生活支援員	市民後見人養成研修修了者を対象に、相模原市内に居住する障がい者・高齢者の生活費の出し入れや公共料金の支払代行、福祉サービスに関する情報提供等の援助業務を行う登録型の生活支援員を新たに実施

- 職員体制：あんしんセンター専門員 7 人、あんしんセンター生活支援員 8 人
あんしんセンター登録型生活支援員 3 人

3 成年後見制度利用促進事業

（受託）5,857,461 円

成年後見制度の利用促進を目指す中核機関として、福祉・法律の専門職等の権利擁護に関わる関係団体とのネットワーク構築を進め、成年後見制度の周知・普及啓発、相談支援等により制度の利用支援を図った。また、市民の身近な相談機関（一次相談機関）の支援を行う「二次相談機関」として、研修会の開催や成年後見人等の受任調整などを実施した。

1) 成年後見制度に関する相談の実施

職員対応による一般相談

認 知 症 高齢者等	障がい者			その他	合 計
	知 的	精 神	身 体		
348 件	97 件	120 件	3 件	14 件	582 件

相談の内訳

相談種類		合 計
後見制度 利用前相談	法定後見制度	135 件
	任意後見制度	64 件
	課題整理	33 件
	申立相談	253 件
	小 計 (A)	485 件
後見制度 利用後相談	後見人の職務	22 件
	終了の事務	4 件
	小 計 (B)	26 件
市民後見人 (C)		4 件
受任調整/候補者選定 (D)		50 件
相談会/説明会 (E)		1 件
その他・不明 (F)		16 件
合 計 (A) ～ (F)		582 件

2) 成年後見専門相談の実施

月 4 回、親族後見人や福祉施設等の職員として成年後見制度に関わる方を対象に、司法書士等による成年後見制度や成年後見人等の業務に関する相談を実施した。

○ 相談件数：74 件

3) 成年後見制度等の説明会への講師等派遣

地域で開催される講座や説明会に専門職講師の派遣等を行い制度の普及啓発を行った。

○ 対応実績：5 件

4) 成年後見制度に関する無料相談会の実施

市民を対象に各区にて成年後見制度に関する専門職による無料相談会を実施した。

無料相談会開催実績

	開催区	開催月日	開催場所	参加者数	
				講演会	相談会
第 1 回	中央区	令和 4 年 10 月 15 日 (土)	あじさい会館	33 人	14 人
第 2 回	緑 区	令和 4 年 11 月 12 日 (土)	緑区合同庁舎	18 人	15 人
第 3 回	南 区	令和 5 年 1 月 28 日 (土)	南保健福祉センター	55 人	20 人
合 計				106 人	49 人

無料相談会対応専門職実績

	専門職					合計
	弁護士	司法書士	行政書士	社会福祉士	税理士	
第1回	1人	1人	2人	2人	2人	8人
第2回	2人	1人	2人	2人	1人	8人
第3回	2人	2人	2人	2人	2人	10人
合 計	5人	4人	6人	6人	5人	26人

5) 専門家チームの利用

センターに寄せられる相談に対し、市が委嘱する困難事例対応専門家チーム（弁護士、司法書士）の助言を得て対応を行った。（相談件数：6件）

6) 成年後見人等候補者選定のための受任調整

後見人等の候補者の選定に悩むケースについて相談を受け付け、適宜会議の開催等を経て候補者の推薦を行った。

① 成年後見人等候補者選定のための受任調整会議の開催

	開催月日	議題
第1回	令和4年5月11日(水)	NO. R4-001 について
第2回	令和4年6月8日(水)	NO. R4-002 について
第3回	令和4年9月7日(水)	NO. R4-003 について
第4回	令和4年10月5日(水)	NO. R4-003 について NO. R4-004 について NO. R4-005 について
第5回	令和4年12月7日(水)	NO. R4-006 について
第6回	令和5年1月11日(水)	NO. R4-006 について NO. R4-007 について NO. R4-008 について 次年度の受任調整会議について
第7回	令和5年3月17日(金)	NO. R4-007 について

② 受任調整件数：7件

7) 人材育成事業

主に一次相談機関を担う各機関の職員を対象に、センター職員による相談上のノウハウについての伝達を目的とした勉強会・説明会の開催や、専門職・学識経験者を講師とした研修会を開催した。

開催月日	研修タイトル・テーマ	対象	参加数
令和4年5月26日(木)	行政職員向け成年後見制度勉強会	行政関係各課担当職員	14人
6月23日(木)	キーステーション職員向け成年後見制度勉強会	障害相談支援キーステーション職員 他	8人
7月12日(火)	成年後見制度利用促進にむけた地域包括支援センター職員向け研修会	地域包括支援センター職員	9人
8月23日(火)	法テラスの利用について～成年後見制度申立てを中心に～	一次相談機関職員	24人
11月15日(火)	権利擁護と意思決定支援～チームによる支援の必要性～	一次相談機関職員 居宅介護支援員 他	47人
11月29日(火)	権利擁護の視点に立った成年後見制度利用に向けて～「チーム」の形成と制度利用～	相談支援専門員 他	35人

4 市民後見人養成事業

(受託) 9,568,212円

成年被後見人等に対して、地域の身近な存在である市民が社会生活の中で培った経験を生かした後見活動を担えるように市民後見人養成及びフォローアップ研修等を開催し、また、成年後見等の受任調整を行った。

1) 市民後見人養成研修

ア 6期生対象：市民後見人養成研修説明会の実施

開催月日	会場参加者数	Zoom参加者数
令和4年4月16日(土)＜緑区＞	18人	3人
4月22日(金)＜南区＞	18人	9人
4月27日(水)＜中央区＞	26人	5人

イ 6期生対象：市民後見人等選考委員会の実施（選考委員7人）

開催月日	受講決定者
令和4年6月8日(水)	16人

ウ 6期生対象：市民後見人養成研修「現場研修」の実施

開催月日		受講者数	修了者数
現場研修	令和4年7月6日（水） ～令和5年2月22日（水） ＜計18日間＞	16人	11人

エ 6期生対象：市民後見人養成研修修了式

令和5年3月17日（金）

2）市民後見人受任調整会議

ア 市民後見人受任調整会議の実施

開催月日	案 件	候補推薦者
令和4年4月6日（水）	交代1人	1人
令和4年5月11日（水）	新規1人	1人
令和4年9月7日（水）	新規1人	1人
令和4年12月7日（水）	新規1人	1人

イ 市民後見人の受任状況

類 型	令和3年度末 受任件数	新規受任件数	受任終了件数	令和4年度末 受任件数
後 見	12人	3人	2人	13人
保 佐	1人	－人	－人	1人
補 助	1人	－人	1人	－人
合 計	14人	3人	3人	14人

3）市民後見人への相談及び事務支援

- 市民後見人受任後の活動について、後見事務支援及び相談援助を実施
- 受任後1年間は、毎月面談を実施

4) 市民後見人養成研修修了者へのフォローアップ研修(1期～5期生)

開催月日		参加人数	内 容
第1回	令和4年9月12日(月)	23人	「市民後見人活動における意思決定支援」 講師 相模女子大学准教授 松崎 吉之助 氏
第2回	令和4年12月14日(火)	23人	「成年後見人による死後事務について」 講師 公益社団法人成年後見人センター・リーガルサポート相模原支部地区長 渋谷 健太郎 氏 (司法書士)
第3回	令和5年2月20日(月)	21人	「相模原市における市民後見人養成・支援事業について」 「みまもりエンディングサポート事業の取組について」 進行 職員

5 身元保証・死後事務支援

(自主) 25,626 円

1) みまもりエンディングサポート事業

市内に住居する単身で身寄りのない高齢者等が地域で安心して生活し続けるために医療・福祉制度等を利用する上で想定される課題に対する相談及び支援を通じ地域福祉の増進を図ることを目的に令和4年10月1日より事業開始した。

内 容	合 計
問い合わせ	34 件
相談申込	5 件

2) おひとりさま終活サロンの開催

みまもりエンディングサポート事業の啓発及び、同じような境遇にある高齢者同士が交わり、相互に情報の共有や交換ができる機会を確保することなどを目的として開催した。

開催月日	参加人数	内 容
令和5年3月10日(金)	17人	講話:「おひとりさまの終活で大切なこと」 横山 正直 氏(行政書士) 情報交換、交流会の実施

④ 在宅福祉推進事業

1 ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業

(受託・自主) 48,136,757 円

調理・買物が困難な在宅のひとり暮らし高齢者等に週 4 回(月・火・木・金) を上限に給食を配食することにより、食の確保、安否確認、孤独感の解消を図った。

利用者の状況				
地 域	登録者	実利用者	新 規	廃 止
緑 区	111 人	78 人	31 人	26 人
中央区	45 人	41 人	2 人	17 人
南 区	71 人	69 人	4 人	17 人
合 計	227 人	188 人	37 人	60 人

調理食数(実施日数 205 日)	
地 域	調理食数
緑 区	11,780 食
中央区	8,210 食
南 区	12,679 食
合 計	32,669 食

利用者宅へ給食を手渡しで届ける市民参加による「配食協力員」は、中央区及び南区の一部地区で活動。

配食協力員等の状況	
区 分	内 容
配食協力員	57 人
配 食 拠 点	12 か所

1) 行事食の実施

クリスマス給食の実施

クリスマスに給食の配食に合わせて、「令和 5 年カレンダー」を贈呈。カレンダーは、地域のボランティアから、約 400 点の絵画や書道等の作品が提供された。提供された作品をカレンダーに貼り付ける作業等を、いるかバンク登録者や就労訓練事業参加者の協力を得た。



2) 職員体制

職 名	人 数
ふれあいサービス相談員	5 人

3) 配食協力員通信等の発行

配食協力員に向け、活動の心構えや注意事項、行事食の報告等を発信した。

配食協力員通信等の発行状況

発行月等	内 容	配布対象
令和4年6月	・食中毒予防について	利用者・配食協力員
11月	・感染症対応について ・悪天候、災害時の給食サービスの中止について	

2 福祉用具無料貸出事業

(自主) 61,028 円

一時的に福祉用具を必要とする市民を対象に福祉用具の貸出しを行った。

福祉用具貸出状況

区 分	障がい者	高齢者	傷病	福祉団体	その他	合計
貸出件数	34 件	741 件	390 件	7 件	21 件	1,193 件
貸出点数	35 点	746 点	392 点	11 点	46 点	1,230 点

3 ファミリー・サポート・センター事業

(受託) 20,303,722 円

安心とゆとりをもって子育てができるよう、会員制による有償の子育て支援事業を行った。
また、ひとり親で児童扶養手当受給世帯には、謝礼の半額助成を実施した。

福祉的な課題を抱える世帯が増加傾向にあり、他機関・事業との連携のもと支援を行った。

会員登録状況

区 分	会員数
利用会員	2,593 人
援助会員	687 人
両方会員	66 人

活動状況

各種活動実績	
利用実人数	361 人(両方会員 8 人含む。)
援助会員活動実人数	168 人(両方会員 11 人含む。)
利用(活動)回数	7,318 回

※ 両方会員：利用会員、援助会員両方に登録している人

会員拡充の取組

区 分	開催回数	参加者数等
入会説明会	36 回(毎月 3 区開催)	410 人
援助会員講習会	3 回(3 区開催)	50 人

会員研修等の取組

区 分	開催回数等	内 容	参加者数等
援助会員随時研修会	6 回 (3 区開催)	小児救命救急講習 (講師：相模原市赤十字奉仕団)	38 人
会報「子育てサポート さがみはら」発行	第 35 号 (令和 5 年 1 月)	・新型コロナウイルス感染症予防対策について ・援助会員講習会等募集 ・センターからのお願い	3,500 部

活動内容

区 分	年 間 累計件数	月平均 件 数
保育所・幼稚園の送迎、登降園前後の預かり	1,791 件	149 件
学校の送迎及び登校前、帰宅後の預かり等	954 件	80 件
児童クラブの送迎、前後の預かり	677 件	56 件
子どもの習い事等の場合の援助	1,460 件	121 件
その他	2,436 件	203 件
合 計	7,318 件	609 件

利用会員世帯年齢別児童数

年 齢	人 数	年 齢	人 数
0 歳	111 人	7 歳	375 人
1 歳	259 人	8 歳	343 人
2 歳	303 人	9 歳	267 人
3 歳	358 人	10 歳	219 人
4 歳	384 人	11 歳	164 人
5 歳	406 人	12 歳	138 人
6 歳	402 人	13 歳以上	60 人
		合 計	3,789 人

ひとり親世帯等助成実績(登録者：28 人 活動者：28 人)

年間延べ利用者数	年間延べ活動者数	助成件数	助成時間	助成金額
86 人	86 人	639 件	1,361 時間	502,675 円

幼児教育・保育無償化実績

利用証明書発行件数
0 件

職員体制

職 名	人 数
ファミリー・サポート・センター推進員	1 人
ファミリー・サポート・センターアドバイザー	4 人

4 生活福祉資金の貸付事務

(受託) 24,359,600 円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収した世帯への特例貸付を行った。また、低所得世帯及び障がい者等の世帯に対し、民生委員・児童委員の援助のもとで、福祉資金や教育支援資金などの貸付けを行った。

貸付決定の状況

資金名	資金の内容	件 数	貸付金額
福祉資金	障がいのある方の自動車購入に係る資金、エアコン設置に係る資金、転居に係る資金等	17 件	5,438,000 円
緊急小口資金	緊急かつ一時的な生計維持困難世帯への生活資金	8 件	750,000 円
教育支援資金	高等学校・短期大学・大学・専門学校の授業料等の資金	19 件	9,225,000 円
総合支援資金	失業者等、生活の立て直しのために必要な資金	0 件	0 円
合 計		44 件	15,413,000 円

貸付決定の状況

資金名	資金の内容	相談件数	申請件数
緊急小口資金（特例）	新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収し、緊急・一時的に生活費が必要な世帯への資金。	3,101 件	603 件
総合支援資金（特例）	新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収し、生活再建までの間の生活費が必要な世帯への資金。	2,684 件	511 件
合 計		5,785 件	1,114 件

5 生活資金一時貸付事業

（補助・自主）197,429 円

他からの借入が困難で、一時的に生活が困窮している世帯に対し、生活資金の貸付けを行い、世帯の経済的支援を行った。

貸付決定の状況

資金名	貸 付 金		償 還 金	
	件 数	貸付金額	件 数	償還金額
生活資金	一件	一円	90 件	592,400 円
修学資金	一件	一円	一件	一円
高校等通学資金	一件	一円	12 件	6,000 円
合 計	一件	一円	102 件	598,400 円

1) 滞納者に対する督促等の状況

- 督促状の発送：2 回
- 督促者数：延べ 282 件

2) 借受滞納者償還免除（欠損処分）

- 借受人が死亡、又は最終償還期限到来後 10 年以上経過しても借受人より償還させることが困難である人等
- 対象者：9 人
- 免除額：539,500 円

運用状況

令和 3 年度末	令和 4 年度			
年度末貸付金 A	貸付金 B	償還金 C	償還免除額 D	年度末貸付金 A+B-C-D
9,245,500 円	－円	598,400 円	539,500 円	8,107,600 円

6 要援護世帯生活資金貸付事業

(自主) 5,320,000 円

生活保護の申請に至った要援護世帯へ、生活保護費支給日までのつなぎ資金として生活資金の貸付けを行った。(貸付限度額 5 万円)

○ 貸付件数：395 件

7 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(補助・自主) 9,090,144 円

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金の貸付けを行った。

○ 貸付決定件数、交付金額

- ・ 入学準備金 : 7 件 3,500,000 円
- ・ 就職準備金 : 3 件 600,000 円
- ・ 住宅支援資金 : 8 件 1,838,000 円

8 社会福祉事業振興資金貸付事業

(自主) 430,327,056 円

民間社会福祉事業の振興策として社会福祉施設の建設資金等貸付金の償還管理等を行った。

- 令和 4 年度末借入施設数：15 施設
- 貸付金元金残高：367,733,000 円

法人名	貸付日	貸付年度	貸付金額	償還回数	償 還 額 内 訳	
					償還済額	元金残高
(福)せんだん保育園	H16. 4. 27	H15	17,200,000 円	19/20	16,340,000 円	860,000 円
(福)県央福祉会	H16. 5. 11	H15	41,100,000 円	19/20	39,045,000 円	2,055,000 円
(福)菊清会	H17. 5. 31	H16	64,398,000 円	18/20	57,960,000 円	6,438,000 円
(福)さがみの福祉会	H19. 2. 27	H18	50,500,000 円	16/20	40,400,000 円	10,100,000 円
(福)大地の会	H19. 5. 30	H18	26,300,000 円	16/20	21,040,000 円	5,260,000 円
(福)ムクドリ福祉会	H20. 4. 25	H19	21,300,000 円	15/20	15,975,000 円	5,325,000 円
(福)相模福祉村	H20. 4. 30	H19	119,700,000 円	15/20	89,775,000 円	29,925,000 円
(福)東の会	H20. 5. 8	H19	49,900,000 円	15/20	37,425,000 円	12,475,000 円
(福)小山地域福祉会	H20. 5. 16	H19	88,500,000 円	15/20	66,375,000 円	22,125,000 円
(福)新日本学園	H20. 5. 16	H19	170,000,000 円	15/20	127,500,000 円	42,500,000 円
(福)ユーアイ二十一	H21. 4. 14	H20	94,400,000 円	14/20	66,080,000 円	28,320,000 円
(福)東香会	H21. 4. 24	H20	52,800,000 円	14/20	36,960,000 円	15,840,000 円
(福)直源会	H23. 4. 18	H22	116,300,000 円	12/20	65,420,000 円	50,880,000 円
(福)蓬莱会	H24. 6. 6	H23	170,000,000 円	11/20	93,500,000 円	76,500,000 円
(福)報徳会	H24. 6. 15	H23	131,400,000 円	11/20	72,270,000 円	59,130,000 円
合 計			1,213,798,000 円		846,065,000 円	367,733,000 円

⑤ 住民参加推進事業

1 ふれあいサービス(有料家事援助サービス)事業

(自主) 4,275,400 円

高齢者・障がい者世帯等の自立支援を目的に、会員制による家事援助・介助サービスを行った。

相談件数の状況

区 分	高齢	障がい	母子	父子	傷病	出産	その他	団体	合 計
緑 区	17 件	6 件	1 件	－件	3 件	－件	3 件	－件	30 件
中央区	69 件	7 件	－件	1 件	9 件	11 件	9 件	－件	106 件
南 区	113 件	14 件	1 件	3 件	9 件	9 件	6 件	－件	155 件
合 計	199 件	27 件	2 件	4 件	21 件	20 件	18 件	－件	291 件

個人会員

区分 年齢	協力会員	利用会員
30 歳未満	－人	1 人
30～39	1 人	14 人
40～49	10 人	6 人
50～59	18 人	8 人
60～69	31 人	8 人
70～79	46 人	48 人
80～89	8 人	80 人
90 歳以上	－人	27 人
合 計	114 人	192 人

活動状況

区 分	年間累計	月平均
利用人数	1,394 人	116 人
活動人数	899 人	74 人
活動延べ回数	4,022 回	335 回
活動延べ時間数	4,305 時間	358.7 時間

利用会員利用理由別内訳

区 分			人 数
個 人 会 員	高 齢	身体障がい	10 人
		知的障がい	－ 人
		精神障がい	4 人
		認知症	3 人
		傷病	66 人
		その他	74 人
	小 計		157 人
	障がい		13 人
	母子		－ 人
	父子		－ 人
	傷病		9 人
	出産		13 人
	その他		－ 人
合 計			192 人

協力会員入会説明会

緑区		中央区		南区		合計	
参加者数	登録者数	参加者数	登録者数	参加者数	登録者数	参加者数	登録者数
5人	5人	7人	5人	19人	15人	31人	25人

※毎月3区で開催

職員体制

職名	人数
ふれあいサービス相談員	5人

2 要介護認定調査事業

(受託) 38,700,000円

介護保険に係る要介護認定調査（新規及び区分変更）を受託し、介護保険サービスの質向上を図った。また、相模原市からの介護認定調査依頼件数の大幅増に対応するなど、自主財源確保に努めた。

受託件数

委託元	件数
相模原市	5,000件
他市町村	8件

職員体制

職名	人数
介護認定調査支援員	1人
介護認定調査員	25人

3 障害支援区分認定調査事業

(受託・自主) 6,407,952円

障害者自立支援法による障害福祉サービスの支援決定手続きの透明性、公平性を図る観点から、障がい者の心身の状態を総合的に評価する障害程度区分の判定調査を、令和4年度より実施した。

実施件数

内訳	件数
市内	552件
市外	27件

職員体制

職名	人数
認定調査担当職員	1人
認定調査員	2人

2) メンタルヘルス相談対応

相談件数（延べ）

区分	新規	継続	キャンセル	合計
件数	7 件	82 件	2 件	91 件

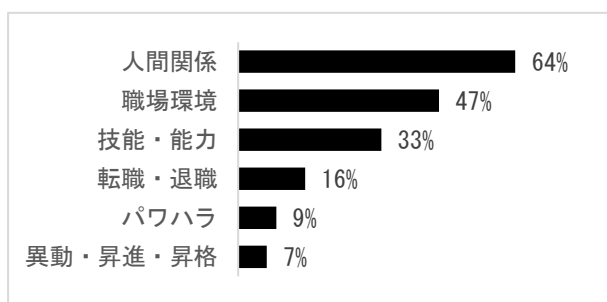
相談者月別実人数

人数
72 人

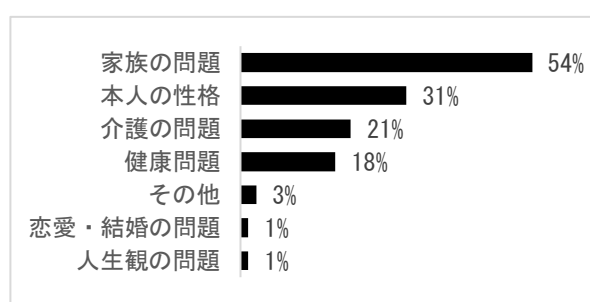
相談者年齢（月別実人数）

区分	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	合計
件数	4 人	20 人	27 人	17 人	4 人	72 人

職場内における相談内容



職場外における相談内容



⑥ 市民福祉会館運営事業

(受託・補助・自主)110,275,298 円

1 あじさい会館管理運営事業

1) 開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	349 日
利用料収入	13,128,109 円

高齢者等福祉施設の利用状況 ※利用は、昼間（午前・午後）のみ

区 分 室 名	団 体			個 人
	件 数	回 数	利用者数	利用者数
第1和室	425 件	593 回	5,653 人	
第2和室	145 件	170 回	794 人	
第3和室	145 件	170 回	786 人	
大和室				2,458 人
ボランティア活動室	530 件	580 回	6,610 人	
合 計	1,245 件	1,513 回	13,843 人	2,458 人

一般利用施設の利用状況

区 分 室 名		利用件数	利用回数	利用者数
ホール		231 件	382 回	38,337 人
展示室	第1展示室	410 件	538 回	13,292 人
	第2展示室	379 件	498 回	8,266 人
	小 計	789 件	1,036 回	21,558 人
研修室		486 件	541 回	6,902 人
講習室		336 件	404 回	4,761 人
和 室	大和室	一件	一回	一人
	第1和室	19 件	19 回	365 人
	第2和室	19 件	19 回	90 人
	第3和室	3 件	3 回	12 人
	小 計	41 件	41 回	467 人
合 計		1,883 件	2,404 回	72,025 人

2) 防災訓練の実施

災害時における会館利用者の安全確保のため、会館に勤務する職員等を対象に防災訓練等を実施した。なお、「防災訓練」、「消防総合訓練」いずれの訓練についても、会館外壁等改修工事により訓練会場確保が困難であったこと、また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、訓練マニュアル等資料の館内関係各課等職員への供覧により実施した。

防災訓練の実施状況

開催月日	内 容
令和5年1月19日(木)	あじさい会館防災訓練 ・館内相貌設備昨日習得及び防災訓練を実施 ・参加者：館内関係各課等職員 14人
2月15日(水)	あじさい会館消防総合訓練 ・初期消火、避難誘導、通報訓練等実施 ・参加者：館内関係各課等職員 19人

3) あじさい会館利用促進事業・福祉啓発事業等の実施

会館1階ロビーを活用した「パネル展示」、障がい者施設と協働で実施する「ワークショップ」、「ロビーコンサート」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、ロビーパネル展のみ実施した。

ロビーパネル展（主なもの）

展示期間	内 容
令和4年4月1日(金)～4月30日(土)	相模原市自閉症児・者作品展示
5月9日(月)～5月18日(水)	民生委員・児童委員活動パネル展示
6月1日(水)～6月30日(木)	NPO団体の活動紹介パネル展示
8月1日(月)～8月31日(水)	障がい者事業所利用者の絵画、手工芸作品展示
9月1日(木)～9月30日(金)	世界アルツハイマーデー啓発パネル展示
10月12日(水)～10月15日(土)	ボランティア・市民活動啓発パネル展示
11月4日(金)～11月11日(金)	介護写真展示
令和4年12月19日(月) ～令和5年3月24日(金)	あじさい大学OB会（出展11団体）による絵画、 文芸等作品展示

4) あじさい会館の日・世界アルツハイマーデー普及啓発事業

認知症地域支援・ケア向上ネットワーク会議（市在宅医療・介護連携支援センター所管）が実施する世界アルツハイマーデー啓発事業「助けられ王国さがみはら」の一環として「映画会」及び「啓発パネル展示」を実施した。

開催月日	内 容
令和4年9月17日（土）	(1) 認知症地域支援・ケア向上ネットワーク会議構成団体活動紹介等認知症啓発パネル展示 (2) 認知症啓発映画会 ・上映作品「ピア～まちをつなぐもの」 ・共催：友知草の会、じゅりの会、ふじの介護者の会 ・参加者：103人

2 あじさい会館南分室（南保健福祉センター内）

開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	323 日
利用料収入	136,730 円

高齢者等福祉施設の利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	594 件	599 回	7,981 人
情報交換ルーム	252 件	280 回	2,830 人
ボランティア活動室	303 件	336 回	3,275 人
合 計	1,149 件	1,215 回	14,086 人

一般利用施設利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	37 件	37 回	460 人
情報交換ルーム	28 件	28 回	379 人
合 計	65 件	65 回	839 人

3 あじさい会館緑分室（緑区合同庁舎内）

開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	357 日
利用料収入	157,500 円

高齢者福祉施設等利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	568 件	590 件	5,774 人
情報交換ルーム	282 件	317 件	2,280 人
ボランティア活動室	177 件	187 件	1,264 人
合 計	1,027 件	1,094 件	9,318 人

一般利用施設利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	65 件	65 件	1,118 人
情報交換ルーム	47 件	47 件	399 人
合 計	112 件	112 件	1,517 人

⑦収益事業

⑦ 収益事業

1 飲料水等販売・自動販売機等運営事業

（自主）12,645,000 円

飲料水等の販売及び自動販売機売上手数料収入等の収益を社会福祉事業の財源として活用した。

1) 社会福祉事業への繰入金支出額：12,029,933 円

2) 市内公共施設への自動販売機設置

○ 68 施設 92 台

（うち、地域貢献型電光掲示板機能付自動販売機 47 台）

3) にこまるラッピング自販機の設置促進

○ 令和4年度 新規設置 1 台

